

第1回飯豊町グリーン・ツーリズム アンケート(2006/5/14～5/16)調査結果
及び

今後のイベントツアー体験メニュー開発に向けた参加側からの提案

目次

- . 今後の調査結果を読むにあたっての留意事項
- . 調査の概要
- . 調査結果の概要
- . アンケート集計結果
- . 調査結果から見た、今後のイベントツアーに向けた修正ポイント
(参加側からの提案)

. 今回のツアーの調査結果を読むにあたっての留意事項

1. ツアー参加者数は 38 名、アンケート回収数は 35 件である。
2. 参加者の内訳は、当プロジェクト事務局が 5 名、自らの参加意志を持って応募した者は推定で 5 名程度、東京農工大学のご紹介で参加した学生が 1 名、その他の約 27 名は社会実験遂行上の業務指示により参加したものである。
(社会実験事業の正式な開始前であるため、日本通運側の休暇措置等の環境も確立できていない状況下でのトライアルツアーであり、参加内訳としてはやむを得ない結果といえる。)
3. 集計結果の多くのグラフ中の数値は当該人数を示している。これは、項目により母集団の数えが極端に少ない場合に、その集約結果を構成率(パーセント)表示し、評価を一般化する誤解を与えかねないことを懸念したためである。参考のための構成率はグラフ軸上のパーセント表示から読み取っていただきたい。
4. 飯豊町滞在中の天候は初日曇り(10 強)、2 日目、3 日目快晴(20 強)であり、雨天などによるツアーメニュー変更はなかった。
5. 時間調整他の理由により一部ツアーメニューの追加が生じたが、それらに関するアンケートは実施していない。

. 調査の概要

1. 調査の目的

年 4 回実施予定の飯豊町グリーンツーリズムツアー(イベントツアー)参加者の満足意識を把握し、今後のツアー企画へ反映する。

2. 調査項目

- (1) 個別の体験活動について
- (2) 食事について
- (3) 宿泊料金について
- (4) ツアー料金について
- (5) ツアー日程について
- (6 ツアー)全体について

3. 調査時期

2006 年 5 月 16 日 ~ 17 日

4. 調査方法

ツアー参加者への無記名アンケート

5. 回収結果など

前述の留意事項参照

. 調査結果の概要

1. 個別の体験活動について

ツアー全体を通して満足したと応えた参加者は 94.2%で、内、かなり満足と応えた参加者は 60.0%であった。この数値を支えた多くの要因は、体験活動にあった。「ひまわり種まき」、「花々寄せ植え」、「田植え」、「畑で野菜作り」などの農作業や、「日通の社散策」での森林散策とキノコの植菌体験など、非日常的な活動が多いため満足度を生んだ。「源流の森体験」はクラフト体験のみで構成されたために嗜好度の観点から他に劣る満足度となっている。

2. 食事について

「歓迎もちつき大会」、「おにぎり、山菜てんぷら」、「バーベキュー夕食会」の満足度はほぼ 100%近い結果となった。一方、宿泊施設「しらさぎ荘の郷土料理」の満足度は少し劣り、更に、「物産館」での食事は大幅に満足度を落とした。

やはり、非日常的、作り手の顔の見える手作りの食事、参加者自身で作る食事への満足度が高いといえる。

3. 宿泊施設について

「しらさぎ荘」、「フォレストいいで(コテージ)」については共に 80%前後の満足度を得ている。「フォレストいいで(ホテル)」については 3 名の母集団のため評価は難しい。

4. ツアー料金について

パッケージ固定料金については 82%の満足度を得たが、オプションツアー(ただし、選択制強制参加の形態)については 60~70%の満足度に低下する。これは、ツアー内容の案内が不明確であり、予想や期待に反する内容であったと感じる参加者が多かったためと見える。

いちご狩りについては満足したものは 20%に過ぎないが、これは食べた時間帯、嗜好に反し強制的であったこと、食味自身の問題などもある。

5. ツアー日程について

ツアー日程については 65%が満足している。他に木曜日~土曜日にかけての実施を望む声が多い。

6. ツアー全体について

参加者の 60~70%が「自然の中で驚きや感動があった」、「体験でからだを動かした」、「農作業や園芸ができた」ことに、更に 80%が「飯豊町の人々とかかわりがもてたこと」に満足している。ツアーにより都市住人の農山漁村への関心を高めるきっかけとなり得ることを示している。

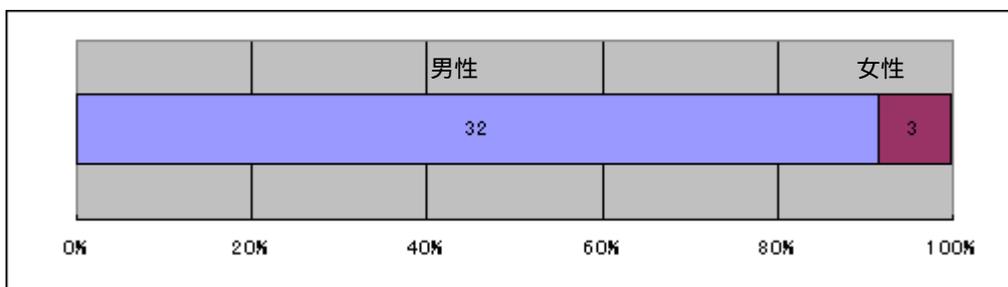
一方、期待通りの体験内容でなかったと感じた参加者が 8.6%おり、また、ツアー全体に時間の余裕がないことを指摘する参加者が 17%いることが改善の余地が多いことも示唆している。

満足度のみから見ると「共生と対流」の必要性を参加者に理解させたこととなり評価に値する。しかしながら、参加者のほとんどが今回初めてこのような体験ツアーへ参加したであろうと推測できる中では、この結果を単純評価することはできないことを重要と考え、後の章で参加側からみた今後のメニュー開発への課題等を提案する。

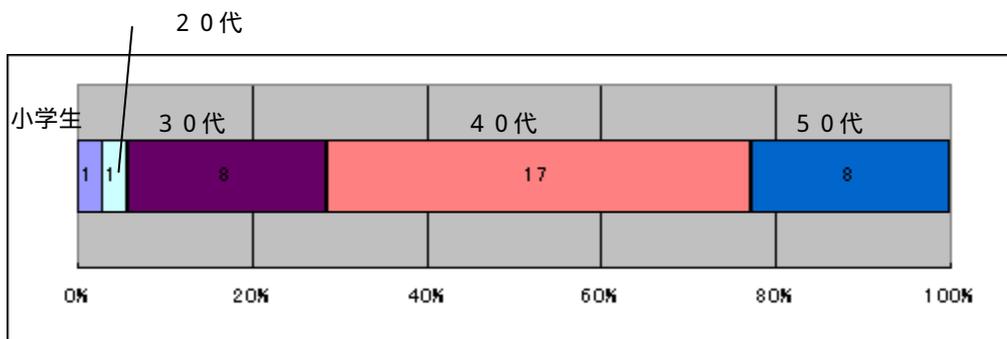
. アンケート集計結果

留意点: 参加人数 38 名、アンケート回収数 35 件(プロジェクト事務局 5 名分を含んでいる)

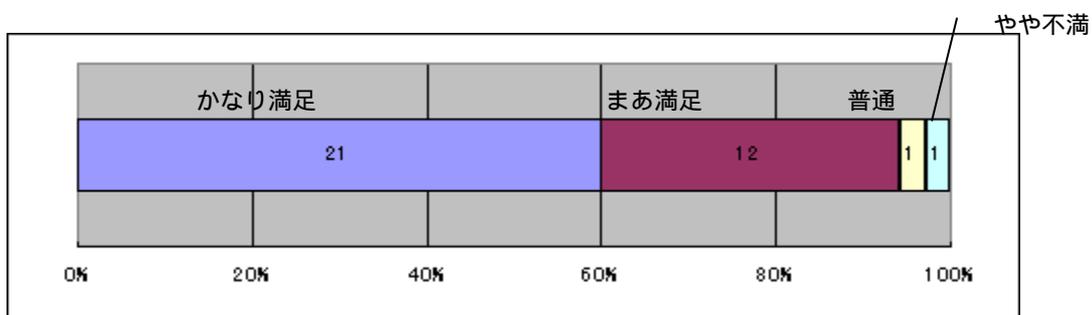
1. 性別



2. 年齢構成

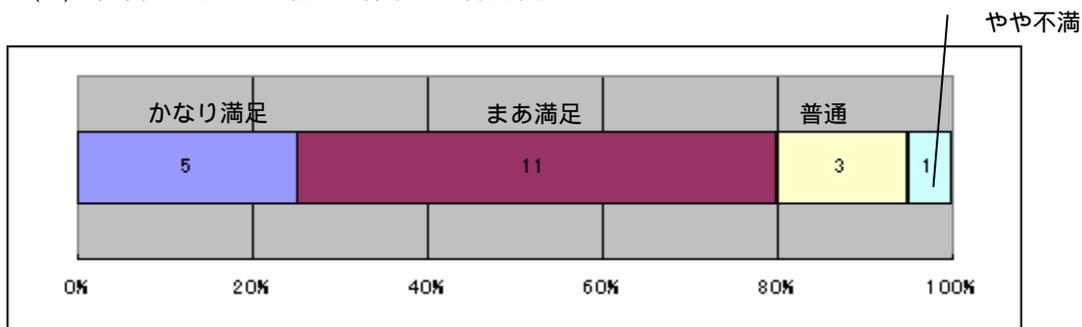


3. ツアー全体を通しての満足度



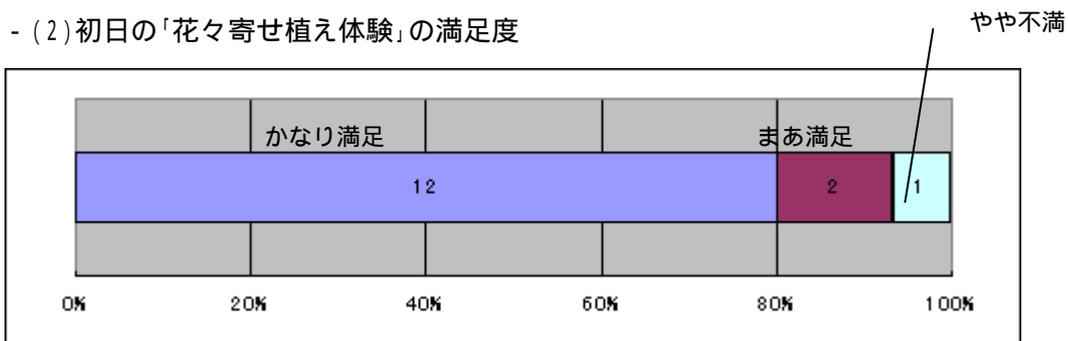
4. 個別の体験活動に関する参加者の満足度

4 - (1). 初日の「ひまわり種まき体験」の満足度



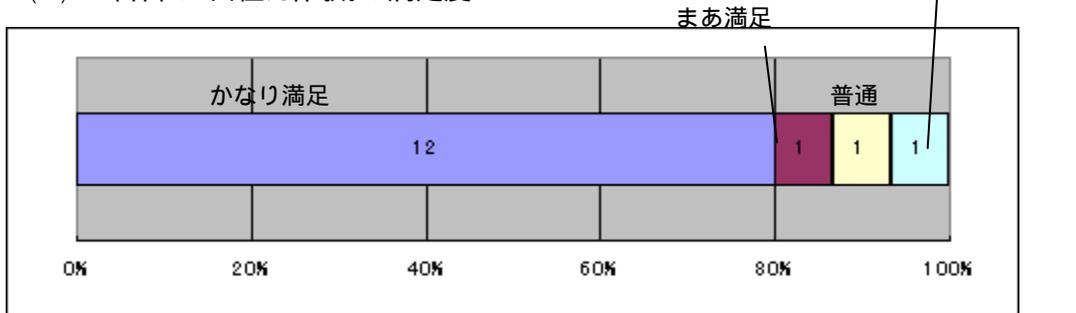
【不満点等】 ツアー案内が親切さに欠け服装が万全でなかった

4 - (2) 初日の「花々寄せ植え体験」の満足度



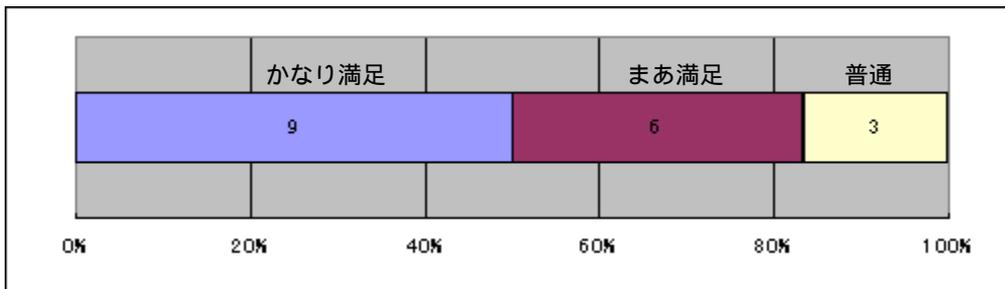
【不満点等】 値ごろ感からただ夢中でやったというだけで、もう少し花や育て方の説明を受けて勉強しながら初心者でもそれなりのものが楽しく作成できる余裕がほしい

4 - (3) .2 日目の「田植え体験」の満足度

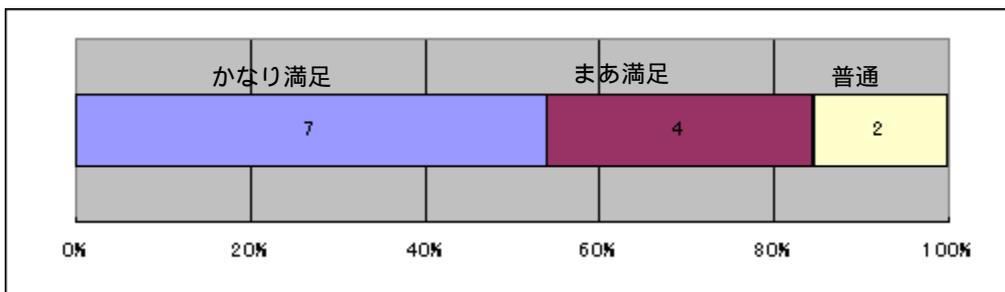


【不満点等】 米作全体の説明や、田のしくみの説明など全般的なことがなくただ田植えを経験したのみで勉強にならない。田植え体験だけならどこでもできるわけで、飯豊町ならではの特征がない。

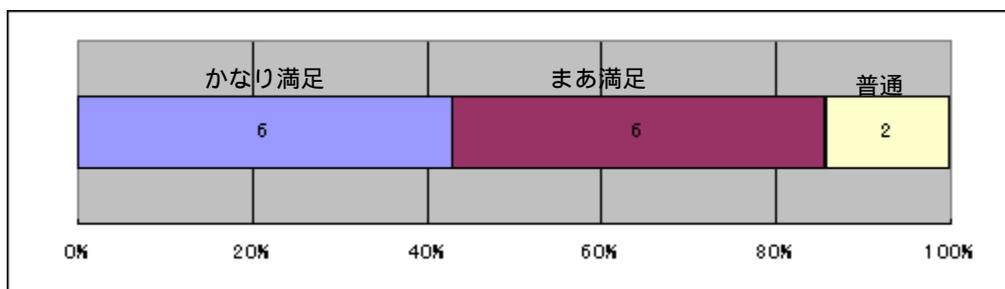
4 - (4) .2 日目の「畑で野菜作り体験」の満足度



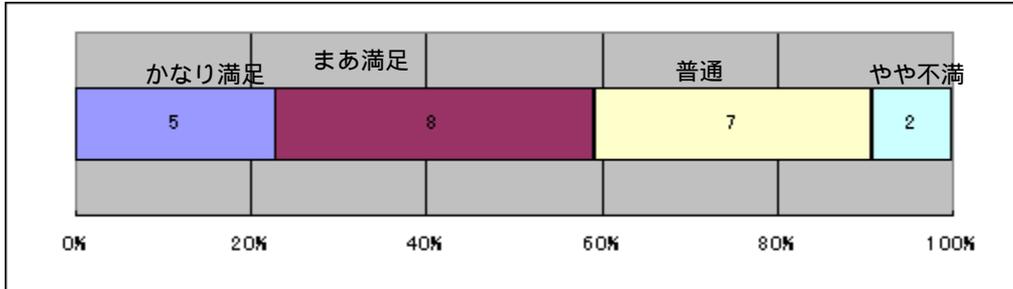
4 - (5) .2 日目の「山菜採り体験」の満足度



4 - (6) .3 日目の「日通の社散策」体験の満足度



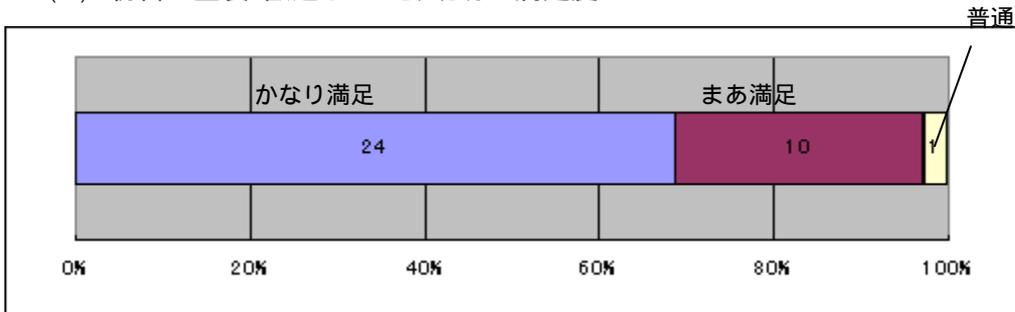
4 - (7) .3日目の「源流の森体験」の満足度



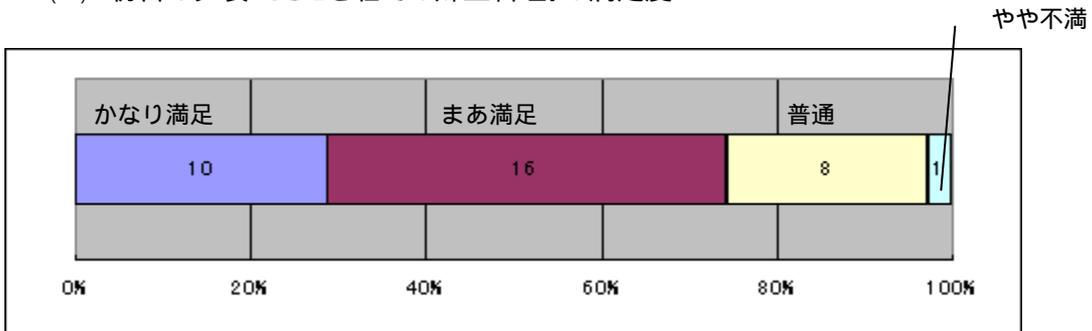
【不満点等】 森林体験ではなかった。クラフトはグリーンと関係するのか？
 日程表には源流の森体験とあったのでウォーキングのイメージであった。実際は強制的なクラフト体験

5 . 食事に関する参加者の満足度

5 - (1) . 初日の昼食「歓迎もちつき大会」の満足度

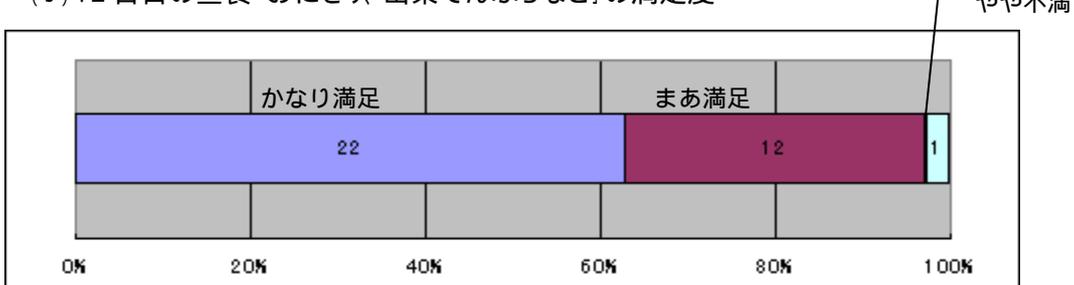


5 - (2) . 初日の夕食「しらさぎ荘での郷土料理」の満足度



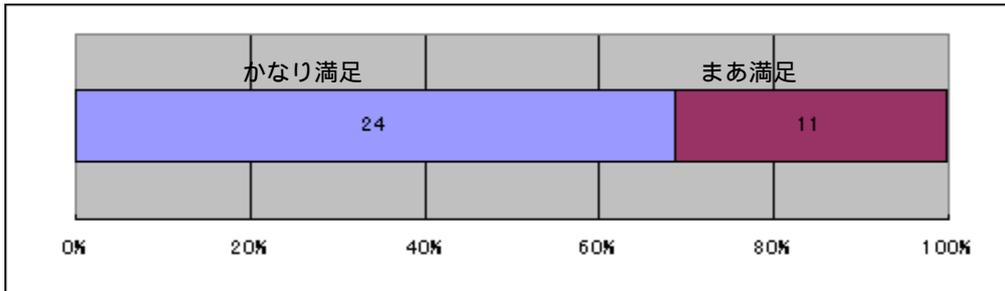
【不満点等】 山菜の割合が少し多いと感じた

5 - (3) . 2日目の昼食「おにぎり、山菜てんぷらなど」の満足度



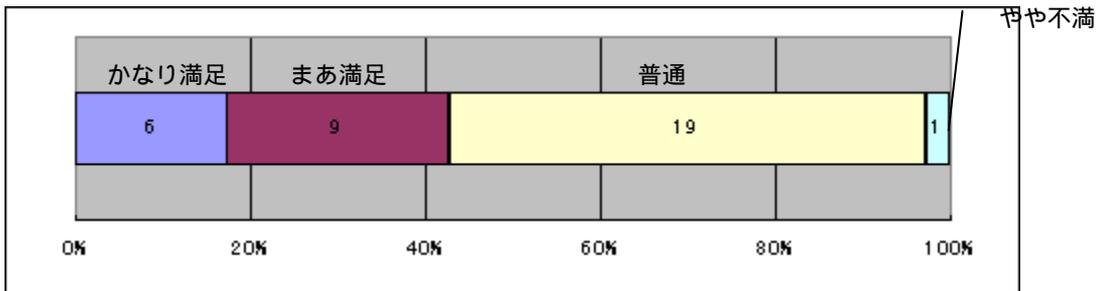
【不満点等】 もてなしはうれしいし料理もおいしかったが、自分たちで材料を採り
料理法も教えてもらいながら自分たちでつくるようなことをすれば
それも体験になる

5 - (4) .2 日目の夕食「バーベキュー夕食会」も満足度



【不満点等】 肉がもっとほしい
清酒が高額の様気がする

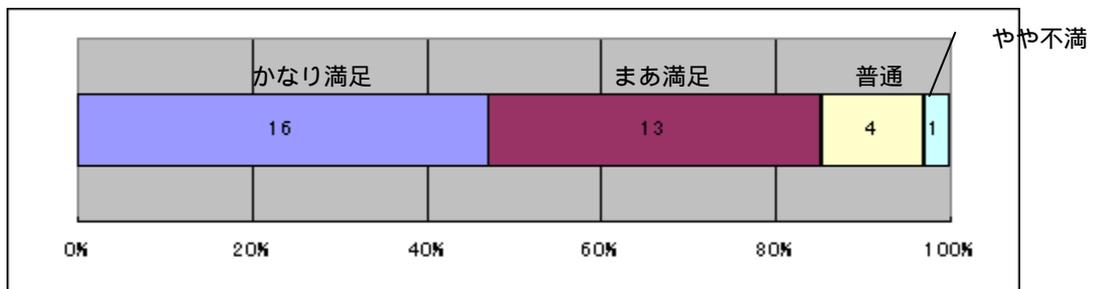
5 - (5) .3 日目の昼食「物産館」の満足度



【不満点等】 芋煮が売り切れだった
買い物の時間が少ないと思う(全体的に忙しい)
ツアー客に安くしてください

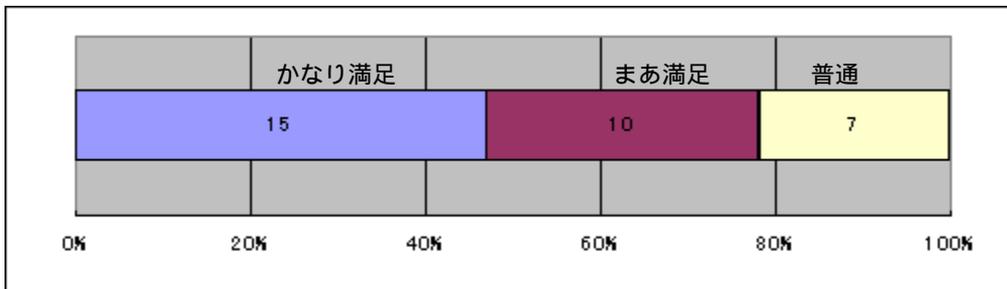
6 . 宿泊施設に関する参加者の満足度

6 - (1) . 初日の「しらさぎ荘」の満足度



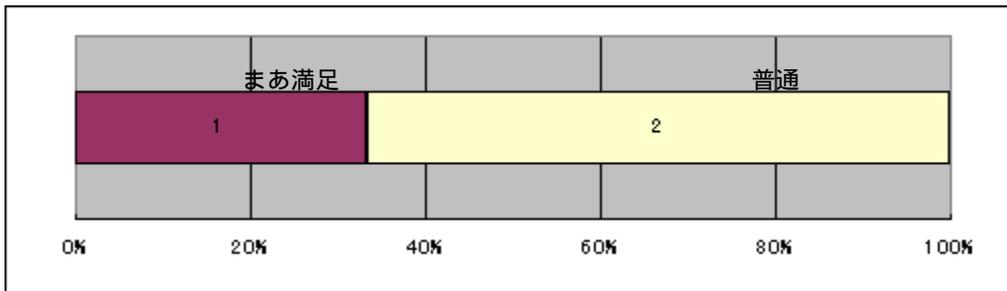
【不満点等】 焼酎、日本酒が売ってればなおいい
部屋がやや狭い

6 - (2) .2 日目の「フォレストいいで(コテージ)」の満足度



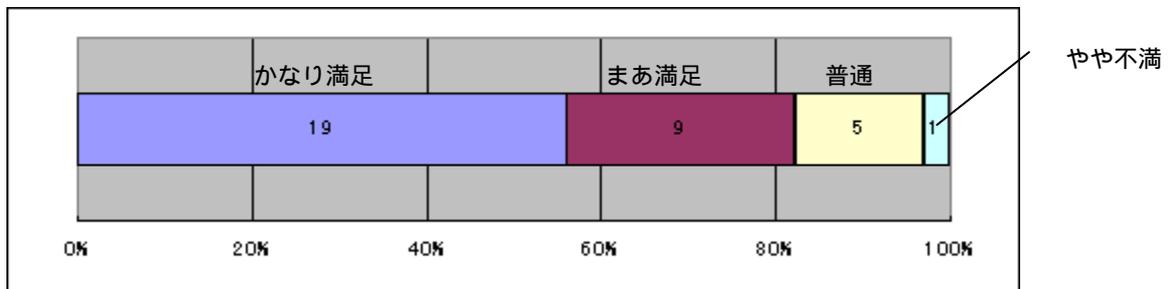
【不満点等】 焼酎、日本酒などがうっていけばなおい
 ホテルの大浴場がもっと広げればよかった
 風呂にバスクリンをいれないで
 大風呂、売店が遠い

6 - (3) . 2 日目の「フォレストいいで(ホテル)」の満足度



7 . ツアー料金に関する参加者の満足度

7 - (1) . パッケージ料金(会社助成を受け 19,800 円に設定)の満足度



【不満点等】 別料金のメニューがわかりづらいのですべてコミにするか、全て自由選択で別料金にするか
 オプションの設定についてほとんど強制的な参加となっていたため、そうであればパッケージ料金に最初から含めてほしい
 やや高いと思う

【このような体験旅行料金としての支払い可能金額】 15,000 円(1 名)

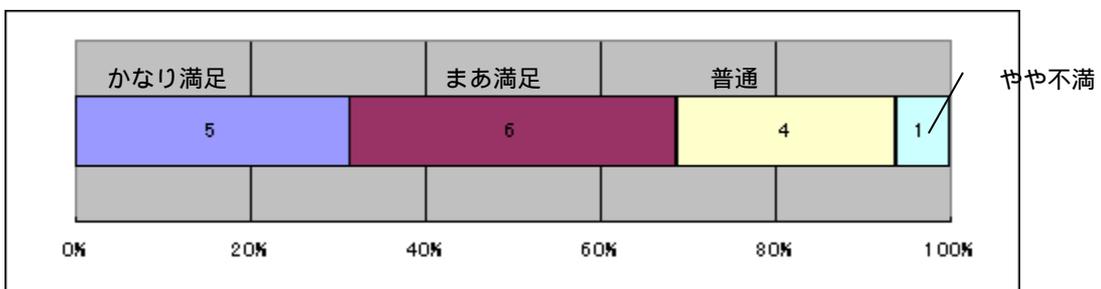
20,000 円(2 名)

25,000 円(4 名)

30,000 円(2 名)

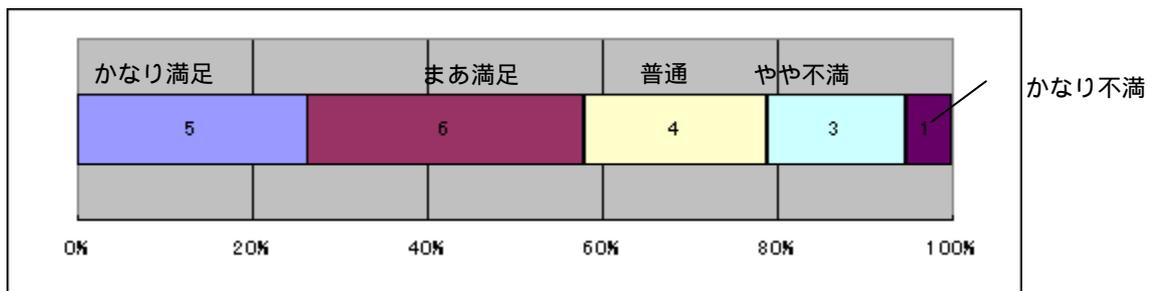
マイカー利用で 15,000 円(1 名)

7 - (2) . 3 日目の「日通の杜散策ツアー、およびキノコ植菌体験」料金の満足度



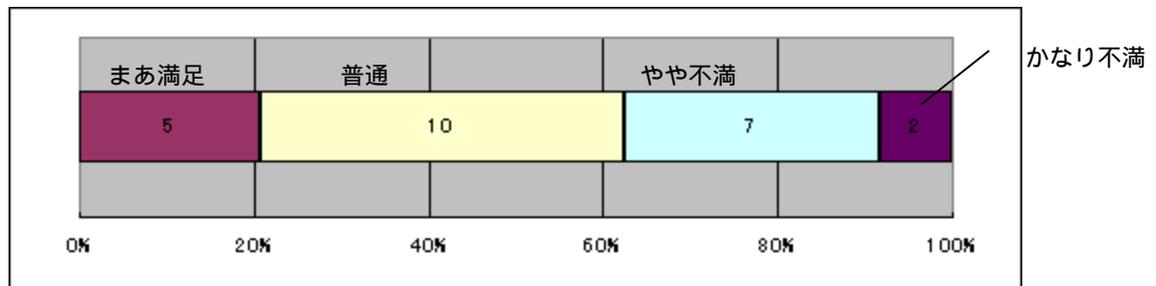
【不満点等】 菌打ちは本来の環境で打ち、どのように栽培されるかまで見えないと実態が分からない。
 料金がかかることはあとで知った。(聞いていなかったかもしれないが)

7 - (3) .3 日目の「源流の森体験ツアー」料金の満足度



【不満点等】 散策できる時間がほしかった
 初心者にもっと説明してほしい

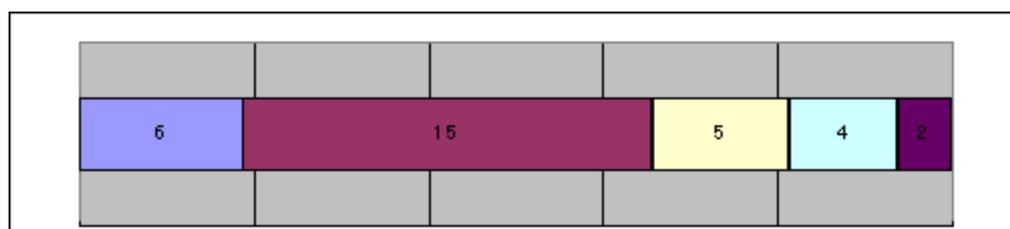
7 - (4) .3 日目の「いちご狩り体験」料金の満足度



【不満点等】 いちごは特産ではないため
 季節外れに特産でないものを食べてもうれしくない。正直まずい。
 あまり乗り気でなかったが強制参加となっていた点
 アスパラと昼食を食べた後ではたいして食べられない
 昼食後のいちご狩りは問題かも
 昼食直後の実施は正直つらい(食べるほうが苦痛)
 食事のあとでは食べられない
 料金が低い
 あまり好物ではないのに強制的に参加

8 . ツアー日程に関する参加者の満足度

8 - (1) . 今回の旅行日程 (GW明けの日曜発 2泊3日) の参加者の満足度



かなり満足

まあ満足

普通

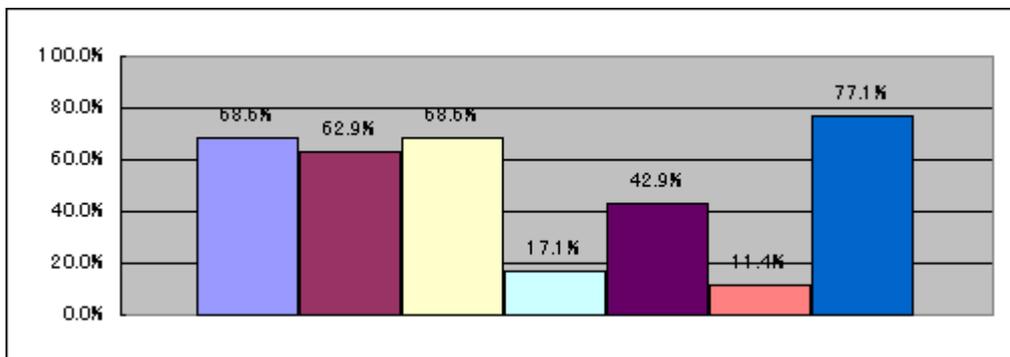
やや不満

かなり不満

【不満点等】 木~土とし日曜に休息を設けたい
 土日を入れてできるだけ平日の日程は避けて組んでほしい
 水~金が良い
 木~金、木~土がベスト
 木~土がいい

9. ツアー全体に関して

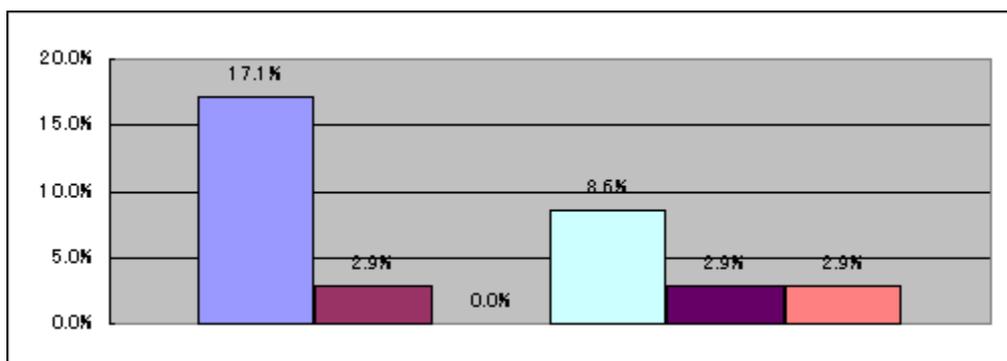
9 - (1). 参加者がツアーに参加してよかったこと



とや自然の中であつた景色
 らいろいろな体験ができたこと
 で農作業や園芸などができたこと
 と自分で摘んだ花など
 り郷土料理が食べられたこと
 が工芸(や陶芸)ができたこと
 わ飯豊町の人々との交流

【その他に良かったこと】 参加者との(日通内交流)ができたこと

9 - (2). 参加者がツアーに参加してよくなかったこと



か時間に余裕がなかったこと
 あ体験活動の中でやぶらげられないこと
 す活動が体力的に難すぎたこと
 も活動が期待した程もなかったこと
 な食べものが口に合
 いかかわりがないこと
 飯豊町の人々との交流

【その他の良くなかったこと】 持ち物の段取りが良く分からなかった

9 - (3) . 参加者の考えるツアーの良くなかったことの改善点

各イベントでダラダラとスタートすることが多くあり、進行に関してもっと気を使う必要があると感じました

農作業をもっと本格的にしてもたら面白い(体験の実感がわく)

オプション参加費は最初に回収しておくべきだと思う

次回参加することで、できなかったことができるのであれば参加できるような環境を整えること
ゆり園展望台が中途半端。山菜採りを途中でやりそれを夕食に出す etc.

必要なものを事前に細かく案内する

一泊目、二泊目を同じ宿にしてほしい、また、同じ支店、グループごとに部屋割りをしてほしい。もし子どもがくるのであれば食事も考えてほしい(大人ならいいけど)

フリータイムの設定

突発的な要望にも応えてくれたので回数を重ねれば問題ないと思う。この柔軟性を続けて
いってほしい。

中途半端な作業が多かった。

「源流の森体験ツアー」というネーミングと実際の活動内容が結びつかなかった。多くの参加者が森の中を散策したり野鳥を観察できるプログラムであるとよかった。

ひとつの宿に絞りこれを中心に活動する。荷物を片付けるのは大変です。

食事にそば、うどんなど麺類を入れたほうが良いと思います。(山形はそばがおいしいので取り入れる。川魚は好き嫌いが多いが麺類は少ない)

9 - (4) . 参加者がツアーで発見したもの

飯豊町の人々と会話ができて楽しかった

自然を通じて子供の参加人数を多くし体験させればと感じた

農作業体験等を通じ、地方(田舎)や農業そのものと精神的な距離が近くなった。身近になった点。子供にぜひ体験させたい。

初めての経験することが多く楽しく過ごせました。

将来子供が大きくなったら参加させたいと思います。

山々の美しさにはびっくりした

子供にも体験させ、農業、自然(森林、昆虫、動物)の大切さを感じさせたい

人と自然の調和を保つことの難しさ。自然の大きさを体感。ふるさとを田舎にもつことの精神的な安定感

子供に体験させたい

自然と共存することの大変さ、難しさ、楽しさ

田植え全部

田植え、畑仕事など体験できてよかった。また、次回も次々回も行きたいが休ませてもらえる?

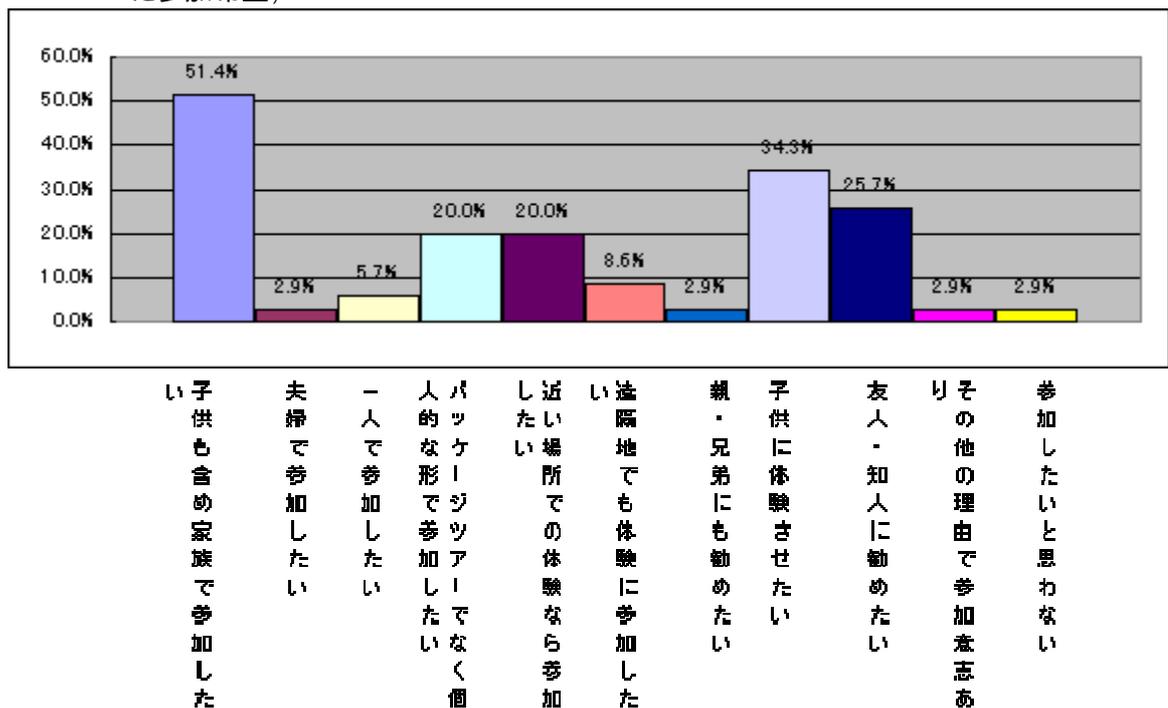
子供、若い人から年配の人まで、誰でも楽しめるツアーだと思った。

飯豊町の皆様が裏方として大変多く関わっていた

食物を生産することが身近に感じられ、食事することが楽しくなった

東京の生活は人間としておかしく、山形の姿が本来のあり方なのでは
 農作業の時間をもっと増やすべきだと思った
 苗を植え、山菜を採り、それを調理していただくことによって、あらためて生き物(食べ物)を大切にしようと感じた(子供たちには特に重要と考える)
 自然の中で体を動かしたことで体の調子が良くなった
 飯豊町の冬の厳しさ、人々の純朴さ、自然環境の豊かなところで人が育つと素直な人間になると感じた。農業の大変さと重要性

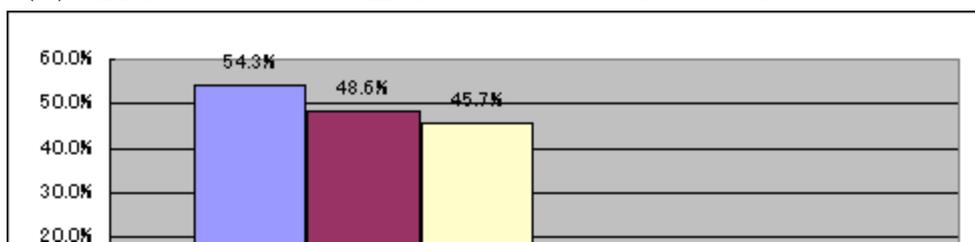
9 - (5) . 参加者の今後の里山体験、農林漁業体験などグリーンツーリズムへの参加希望(飯豊町に限定した設問ではなく、他で開催されている同様の体験も含めた参加希望)



【その他の理由で参加意志あり】 企画場所、日程内容により一概には言えない

【参加したいと思わない意見】 連休、盆暮れの休暇では参加できない、会社の休暇優遇措置が必要

9 - (6) . 社会実験テーマである「企業ふるさと」に対する参加者の考え



ライアルツアーであり参加側の休暇措置などの環境が整ったとはいえない状況での実施となったことも手伝い、結果的に今回のツアーには自ら望んでツアーに参加したのではなく社会実験遂行上、業務指示されて参加したもののそれ故にグリーンツーリズム(GT)や里山イベントなどの経験をもたない者(初心者)がほとんどを占めていたことにある。

とは言え、今回のツアーではそれら初心者はこれまでの自身の生活や文化にない多くの新しい発見をしたことは事実であるために「このツアー内容に満足したし、できれば(自ら望んで参加できる環境など条件が整えば)また飯豊町に行ってみたい」と“思った”者はかなり多く存在するはずであり、共生・対流を進める実験事業の1側面として「まずそう“思わせた”」ことを満たしたことは評価できることにはかわりはない。

このアンケートは飯豊町から帰郷途中、その時点では各種メニューを体験したことで発見した喜びや楽しさを継続実感している状態のバス車中で記載いただいたものである。参加者は翌日から仕事に復帰し多忙な日々を過ごす。その中で、その長い時間を経ても飯豊町に思いを馳せ、ときにはふと思い出しては「飯豊町に行きたい思いに駆られる者」が参加者の中に多く存在するかは疑問が残る。それは、参加者が今回のツアー各体験メニューの正に実施中にも「来年も“同じ”ことをやりたい」、「次回参加すれば“新たな発見”を与えてくれるはず」との思いを抱ける程に、各体験内容が参加者に「常に」、あるいは「折々に」飯豊町を意識させる何かを与える」という最も重要な課題をクリアできたとは言いがたいからである。つまり、今回のツアーメニューの多くは飯豊町でなくとも「どこでもできるもの」、「どこでもできる形で実施したもの」であったことを指しているのだが、こういった体験の初心者は今回農的社會にそれなりの興味をいただいたことで今後身近に類似の現場をみることに目ざとくなったことで、いずれ近いうちに「あれは飯豊でなくともできたことだった」ことを知ることで「どこでもできることのために飯豊まで出向く必要はない」と感じることは想像に難くないのである

初心者向けに「農的体験を加えた珍しい旅行で楽しかったと思わせる事業」を開始することは非常に簡単なことであり、全国どこでも展開できる。それが故に、初心者を追っての事業は継続し得ないことは明らかでもある。事業として成立、存続させるためには「あそこで“同じこと”がまたやりたい、あそこなら次にも“新しい何かを発見できる”にちがいない」と確信を持たせて「年間をサイクル」として、更に「何年も継続して」利用いただける「リピーター」を生むことができる体制や管理も含めた総合メニューを作り、維持管理していけるかがキーとなると考える。

「課題」

まだ、リピーターを生めるメニュー開発ができていない

受入側コストを大幅に削減した上で、参加者に有形、無形の付加価値を与えないといけない
受入側は参加者をお客様扱いするのではなく、参加者の自己完結を促すメニューを与えない
といけない

(1)飯豊町は参加者を「お客様扱い」することを辞めるべき。

【ポイント】

- a. 参加者は体験メニューの参加者であって、提携先の「お客様」ではないことを認識しないと、
参加者は「ちょっと風変わりな楽しい社員旅行に来た」と勘違いしサービスを重んじるようになる
受入側はもてなしに気をとられて大幅なコスト増を招く

これらにより飯豊町のあるべきGTの姿や体験メニュー内容が確立しないまま実験を終えることになる。

(2)リピートする気にさせるものが欠けている。GTを生業化するにはリピートしたい気持ちを抱かせることが最も重要。

【ポイント】

- a. そこでしかできないからリピートする。(どこでもできることに遠隔地を選ばない)
実際はどこでやっても基本はそうは変わらないであろうが、「飯豊だからできるのだ」と感じさせる仕掛けをもってそうかんじさせることが必要。(空気/山/川でも、あのおばあちゃん/おじいちゃん、でも可)
- b. 参加者が1回の参加で「年間サイクル」が想像できる工夫が必要
春参加したらその時点でも「夏はこれをし、秋はあれを、冬には何をしたい」と想像を抱かせるための魅力を教える説明術や小道具
(種まきをさせたらどの段階でどの程度生長するかがわかる過去の写真を見せ、田植えをさせたら稲刈り風景や収穫祭の写真を見せ昨年ここで採れた米を食べさせる。
夏に森林散策してナッツ類の木を紹介しながら、その実で昨年秋に作ったいろいろなペーストをパンにぬり試食させる、でも可)
- c. 参加者が帰宅してから飯豊町をたびたび思い出させる物理的なモノを与える
心、食事、食べ物はそのときは嬉しくとも時間がたてばどこにでもある one of them 扱いされ、忘れ去られる可能性も高い。
時には押し付けにも感じさせる(こんなにもらっても困る、etc)
形に残り簡単には捨てられないモノを与え、帰宅しても家のどこかに置かざるを得ない状況を作る。モノを見る度に飯豊を思い出す。
体験を通して参加者自身が作ったものを持ち帰るのが良い。
(きのこの菌打ちをしたら、最後にお土産に輪切りの木を持ち帰らせる。
本当に興味がなければ帰途で捨てられるが多くは自分のきのこが生えるかを楽しみに家で観察をする、飯豊を思い出す、きのこが出る、飯豊を思い出すなど長いスパンで振り返りを与える材料となる。
持ち帰ってきのこが生えるかどうかの問題ではなく、長い楽しみを与えて、かつ飯豊を思い出させることが重要。
東京でも菌打ちしたものを売っている。確実に収穫できるものである。重要なのは飯豊町で自分で菌打ちしたものがどうなるかの楽しみ(モノ)を与えることである。)
- d. 体験では、参加者が自己完結することで満足を得る
受入側のコスト削減を実現する手段でもあり、両者にメリットを生む。
全ての作業は準備から後片付けまで参加者にさせることが基本。
本当の意味での裏準備は必要だが、参加者をお客様扱いせずなるべく多くの行程を参加者が体験し、参加者に自己完結した思いを抱かせるべき。
(きのこの菌打ちは、森の現場まで歩くところから始め、木を切り出し、打ち、栽培場所まで運ばせる。実際には作業不可能な行程は料理番組方式で途中の行程をショートカットする。最後に菌打ちした木を皆で輪切りにし、土産用にする。
去年採ったきのこで作った料理を食べる。たとえそんなに美味しくなくとも自己完結したことで満足する。

受入側で事前に切り出しておくなどの作業人件費は不要。そういった大きなコストは参加者がきるためののこぎりやなたなどの小道具の負担に代えることでコスト削減する。)
- e. 複数の体験を複合的に組み合わせる。
単独の体験作業は実際の行程のほんの一部に過ぎず、それだけでは飽きられる。
(「野草、山菜摘み」メニューでは、歩いて摘んで、それを料理するのみでなく、料理

をのせる皿とお椀を作るために竹を採りに行き、皿を作って、料理した料理をつくった皿に盛り食べる。2つの体験を同時に行い、それぞれが自己完結する体験とする、等。)

更に作った竹皿とお椀は土産として持ち帰らせる 飯豊を思い出す
モノの位置付けにもなる

f. 教育的要素が重要(知識吸収欲旺盛な人間を満足させる)

農の生産現場での日々の作業が科学的知的行動であることを参加者に見せ、聞かせ、知識の欲しい参加者の欲求を満足させる

食育・食農、環境問題、エネルギー問題、自給率問題など生命の根源を預かる農の現場の重要性を参加者に理解させることで欲求を満足させる

以上

第2回 飯豊町グリーン・ツーリズム アンケート(2006/7/29~7/31)調査結果

及び

日通側事務局からの意見

目次

- . 今回の調査結果を読むにあたっての留意事項
- . 調査の概要
- . 調査結果の概要
- . アンケート集計結果
- . 日通側事務局からの意見(今後のイベントツアーに向けた修正検討依頼ポイント)メモ

. 今回の調査結果を読むにあたっての留意事項

1. ツアー参加者数は 39 名、アンケート回収数は 18 件である。(8/7 日現在)
1. ツアー参加者数は 39 名、アンケート回収数は 26 件である。(8/14 日最終)
2. 参加者 39 名の内訳
成人 男性 21 名 女性 8 名
小学生 男児 7 名 女児 3 名

39 名の内、事務局 3 名
内、家族参加 8 家族(20 名)、単独参加 19 名
内、東京近郊からの参加は 32 名、仙台 6 名、山形 1 名
内、春夏連続参加 8 名(1 家族 = 2 名、単独参加 4 名、事務局 2 名)
3. 集計結果の多くのグラフ中の数値は当該人数を示している。これは、項目により母集団の数が極端に少ない場合に、その集約結果を構成率(パーセント)表示し評価を一般化する誤解を与え兼ねないことを懸念したためである。参考のための構成率はグラフ軸上のパーセント表示から読み取っていただきたい。
4. 飯豊町滞在中の天候は 3 日共晴れ時々曇りであった。星観察は曇り空のため中止した。

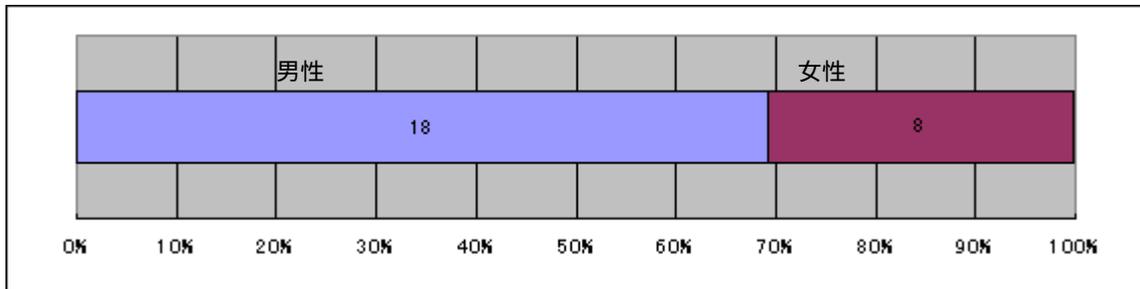
. 調査の概要

1. 調査の目的
年 4 回実施予定の飯豊町グリーンツーリズムツアー(イベントツアー)参加者の満足意識を把握し、今後のイベントツアー企画へ反映する。
2. 調査項目
(1) 個別の体験活動について
(2) 食事について
(3) 宿泊料金について
(4) ツアー料金について
(5) ツアー日程について
(6) ツアー全体について
3. 調査時期
7/31 解散式後、参加者にアンケート用紙を手渡しし、8/4(金)を期限に社内便にて回収
4. 調査方法
ツアー参加者への無記名アンケート
今回は帰宅のバス中ではなく自宅に持ち帰り記載いただく方法をとった。(バスの中で記載するのは困難と判断)
5. 回収結果等
前述の留意事項参照

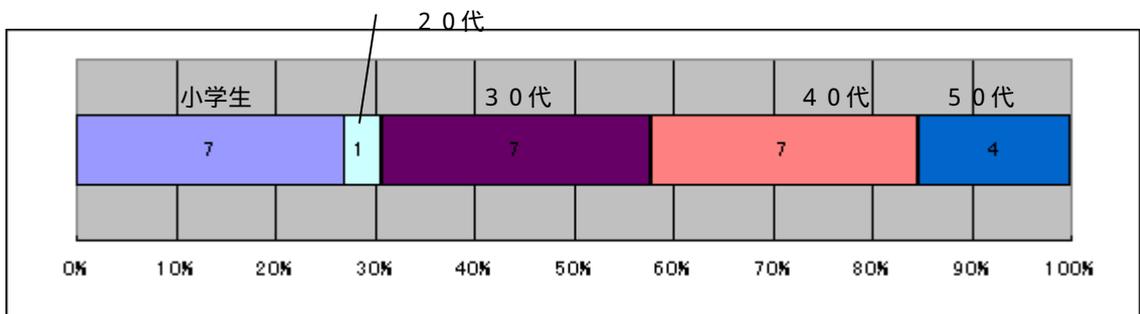
. 調査結果の概要 この項の記載を省略します

. アンケート集計結果

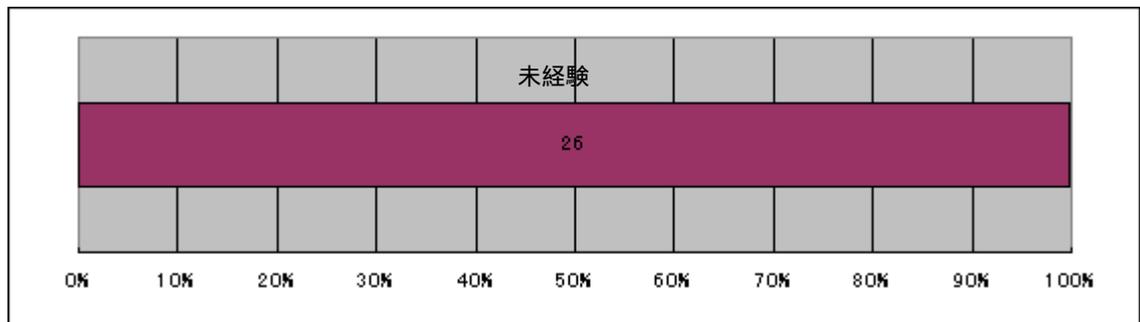
1. 性別



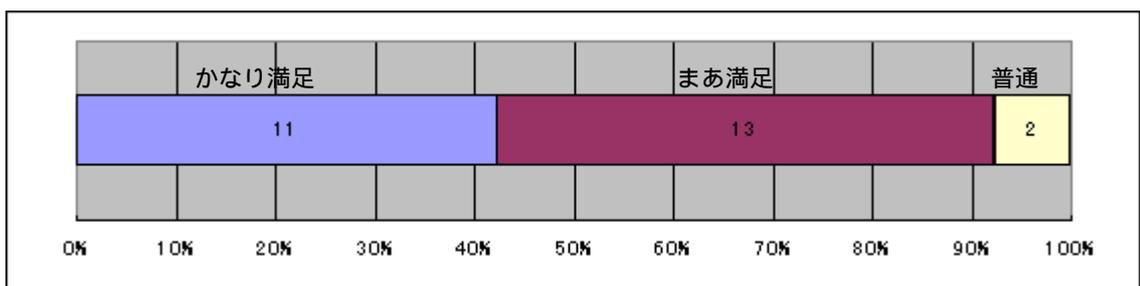
2. 年齢構成



3. 他地域における里山体験、農林業体験などへの参加経験

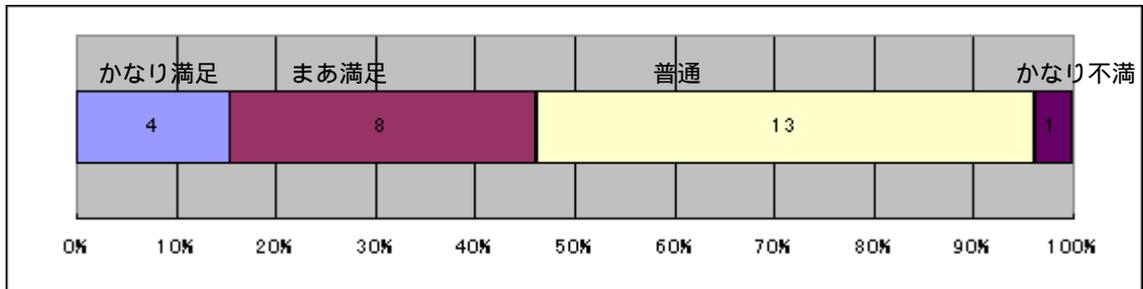


4. ツアー全体を通しての満足度



5. 個別の体験活動に関する参加者の満足度

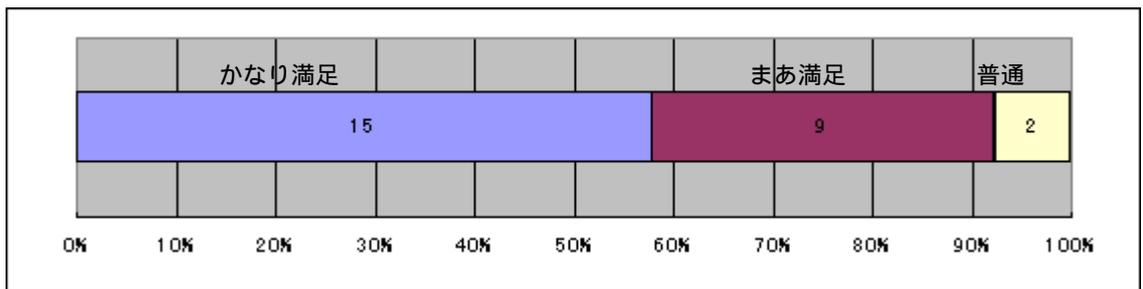
5 - (1) . 初日の「展望台、ゆり園散策」の満足度



【気づき等】・展望台というよりも歩いて下ってくるとき野草の説明が面白かった

- ・(子供)ゆりが見られなかった
- ・春の景観を考えると夏はそれ程でもない
- ・(仙台)参加することができなかったので不満です

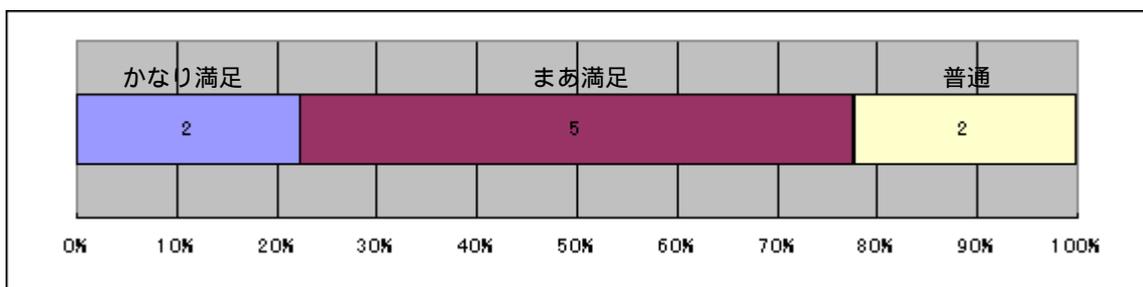
5 - (2) . 初日の「雪遊びと花火大会見物」の満足度



【気づき等】・花火は最高でした。雪遊びは時間がなく(案内もなく)できなかった

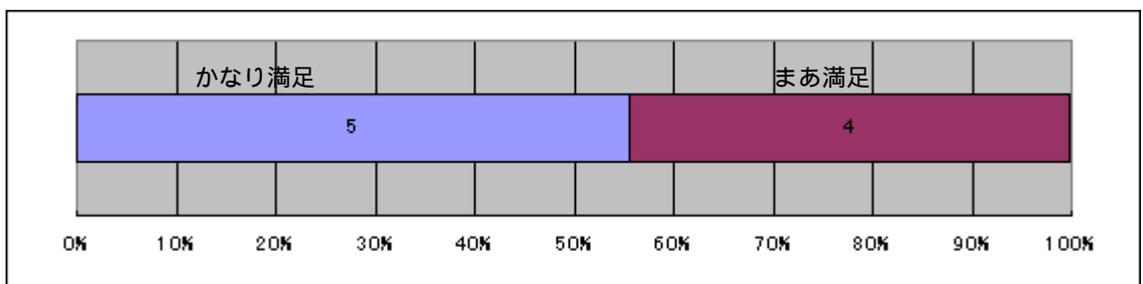
- ・(子供)雪遊びができなかった
- ・花火大会は近くでみることで音と光の演出に満足

5 - (3) A . 2日目のたんぼコースの「たんぼ草刈り体験」の満足度



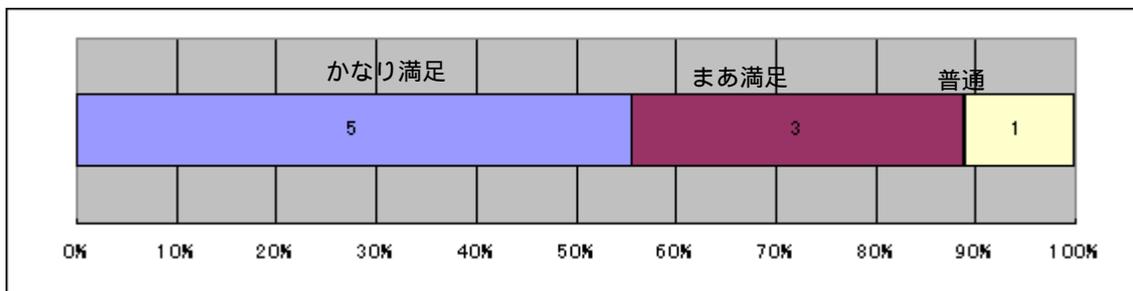
【気づき等】

5 - (3) B . 2日目のたんぼコースの「野菜もぎ取り体験」の満足度



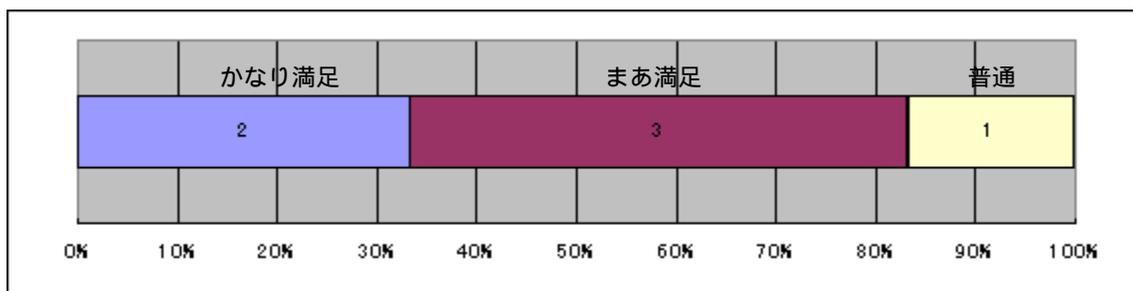
【気付き等】

5 - (3)C. 2日目の田んぼコースの「もぎ取った野菜の調理体験」の満足度



【気付き等】

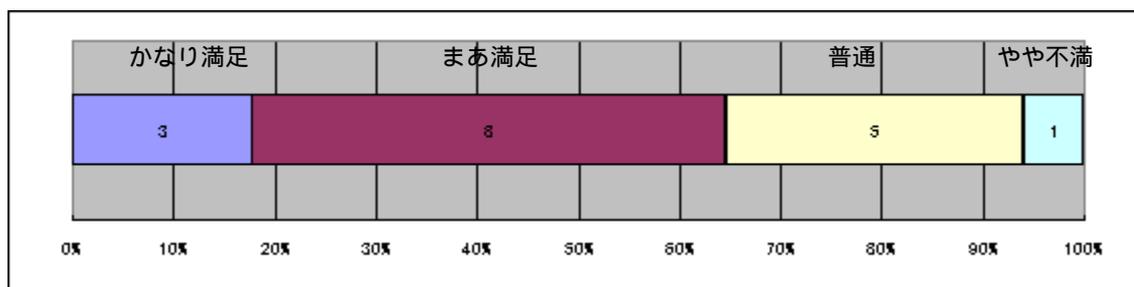
5 - (3)D. 2日目の田んぼコースの「竹細工(花瓶運など)」の満足度



【気付き等】 ・急遽つけもの講座をひらいていただきありがとうございました

・(子供)休耕田での体験は最高でした。

5 - (4)A. 2日目の畑コースの「畑作業(じゃがいも掘りなど)体験」の満足度

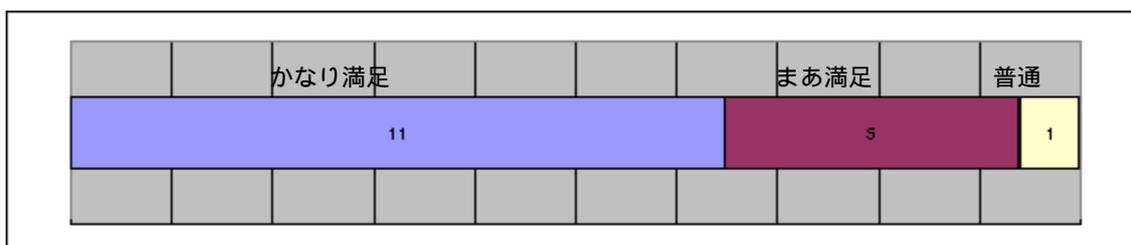


【気付き等】 ・千葉市で市民農園に通っているが、この体験農園は畑とは言えないのでは(土が悪すぎ、草が生えすぎ、教え方も乱暴、作物を大事にしている等)

・草むしりが途中になってしまったり、バラバラの作業だった

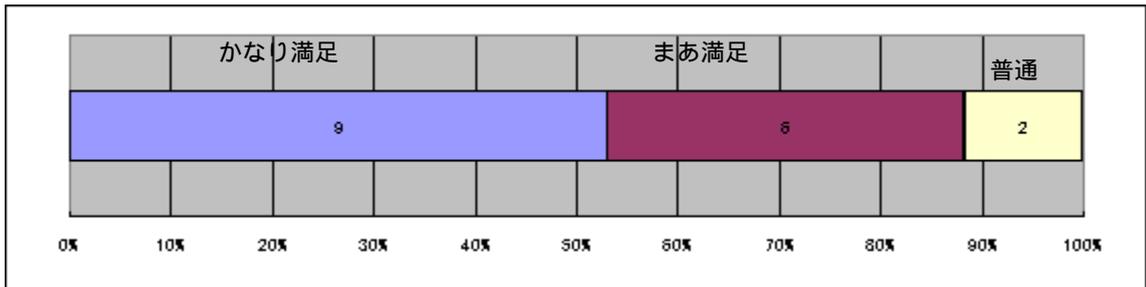
・(子供)種芋がくさかった

5 - (4)B. 2日目の畑コースの「そば打ち体験」の満足度



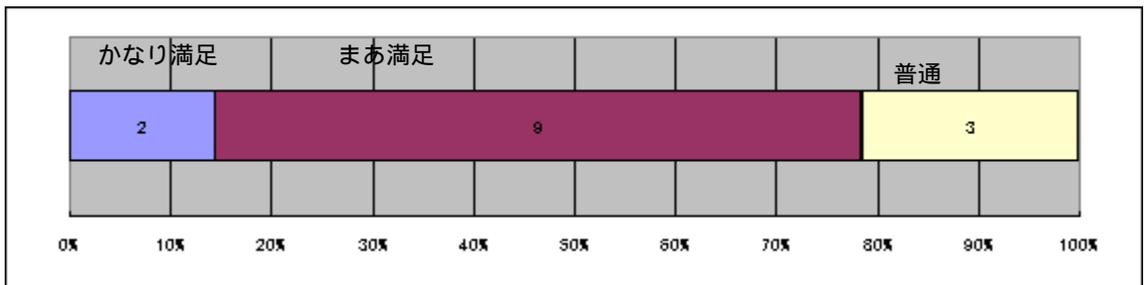
【気付き等】 ・(子供)めんが太く食べにくかった

5 - (4)C. 2日目の畑コースの「竹細工(竹皿など)体験」の満足度



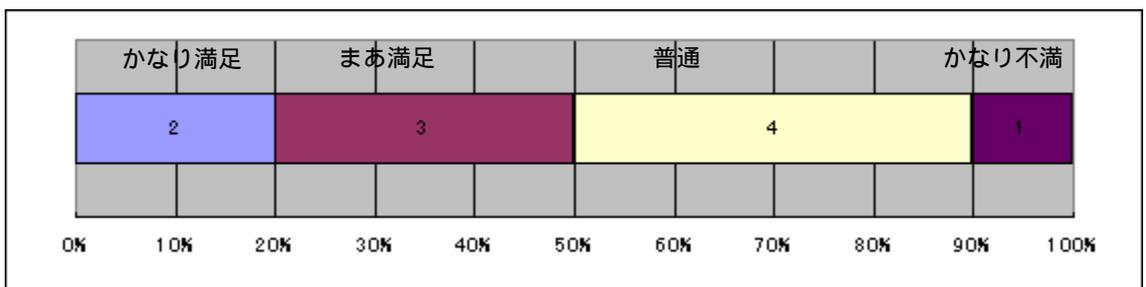
【気付き等】

5 - (4)D. 2日目の畑コースの「かやぶき家体験」の満足度



【気付き等】

5 - (4)E. 2日目の畑コースの「飯豊町農学講座(座学)」の満足度

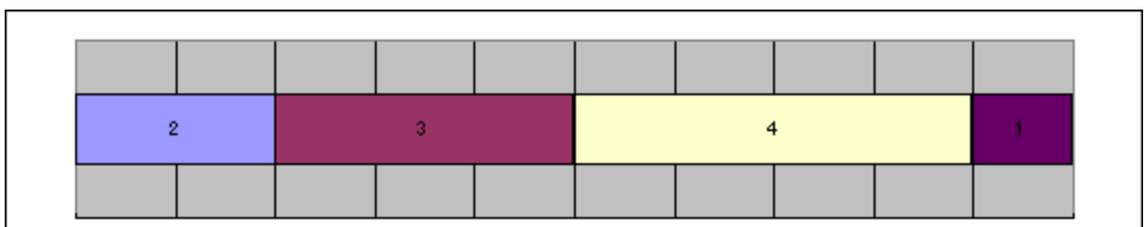


【気付き等】 ・(注意)参加することができなかったので不満です かやぶき家へは
いっている方なので、これが農学講座であることを理解できていな

い

のかも？

5 - (5) . 2日目の「昆虫取り仕掛け作り体験」の満足度



かなり満足

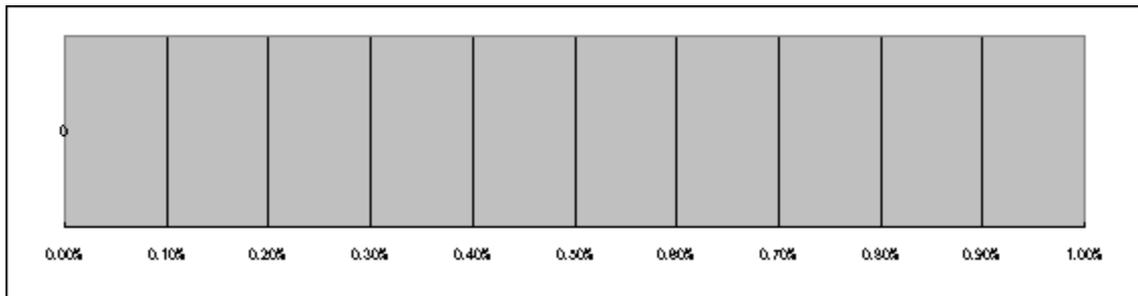
まあ満足

普通

かなり不満

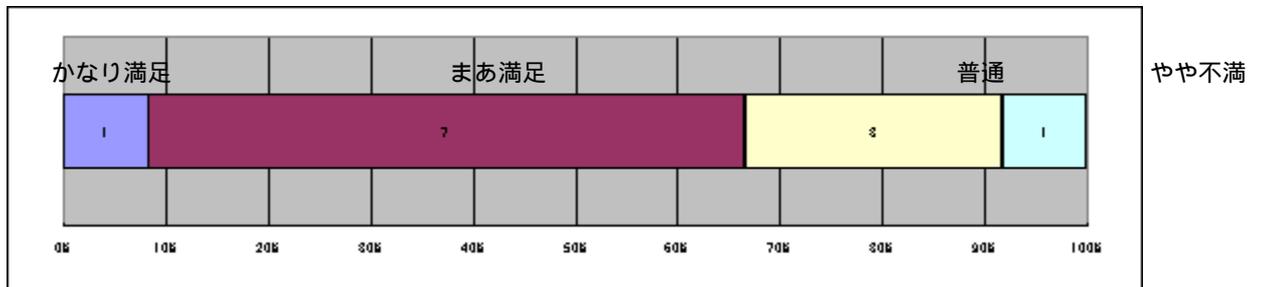
【気付き等】 ・仕掛け場所に不満。桜の木、場所、子供だましのように感じた。
 ・仕掛ける場所および採取する時間をみてもとれるはずがない
 ・(子供)昆虫がとれなかった
 ・(子供)虫がとれなかった。仕掛けはしなくてもよかった。

5 - (6) . 2 日目の「星空観察体験」の満足度 曇り空のため中止となった。



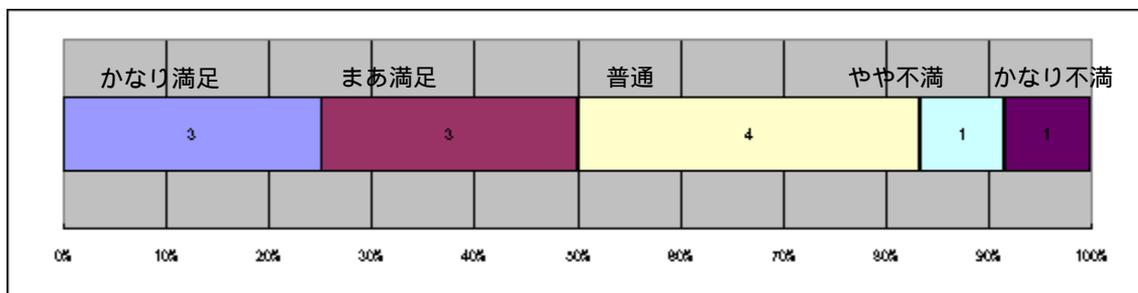
【気付き等】 ・星空観察は花火の前に楽しめたので、望遠鏡がない限りはいらない

5 - (7) . 3 日目の日通の杜での「森林ボランティア体験(下草刈りなど)」の満足度



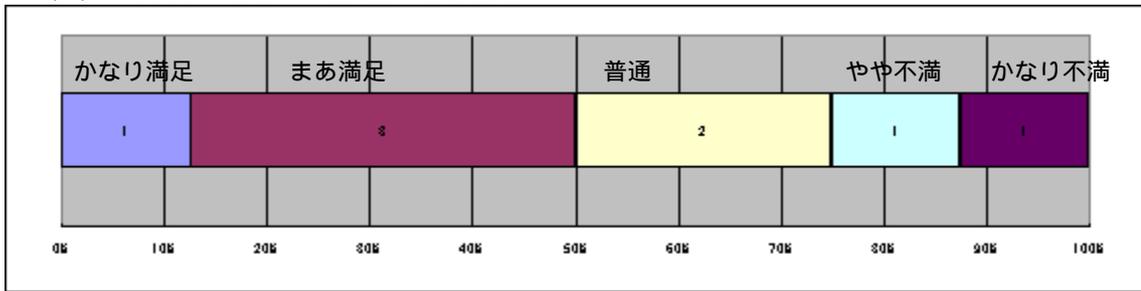
【気付き等】

5 - (8) . 3 日目の日通の杜での「昆虫採集、生き物観察」の満足度



【気付き等】 ・子供が疲れた上に目的がはっきりせず早朝のカブトムシ採集にしてほしかった。
 ・(子供)疲れた

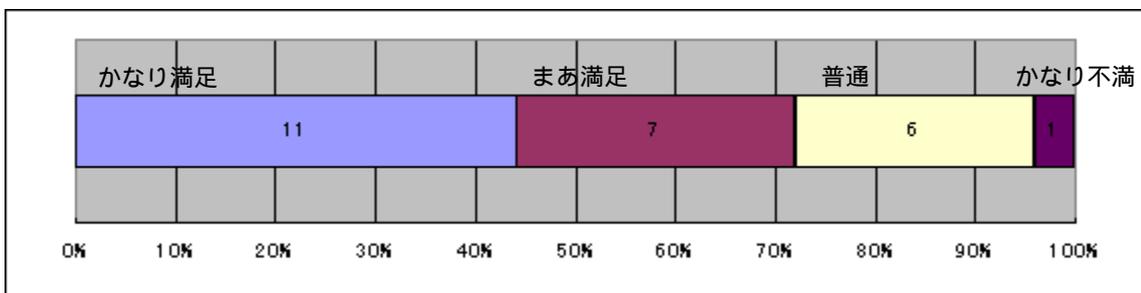
5 - (9) . 3 日目の「川遊び体験」の満足度



【気付き等】 ・川の生き物の説明などをしてほしかった
 ・(子供)何もとれなかった

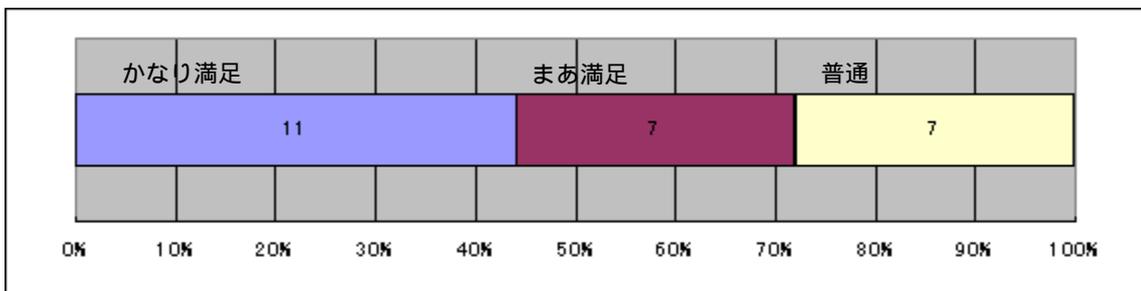
6 . 食事に関する参加者の満足度

6 - (1) . 初日の昼食「歓迎もちつき大会」の満足度



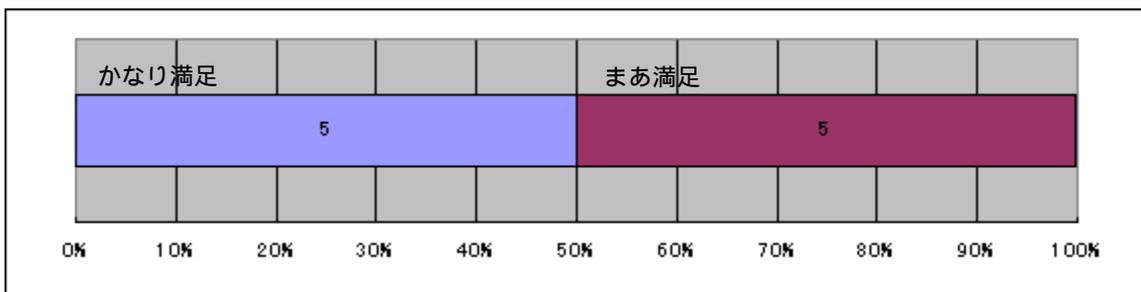
【気付き等】 ・(仙台)食べられなかったので不満

6 - (2) . 初日の夕食「白川荘での郷土料理」の満足度



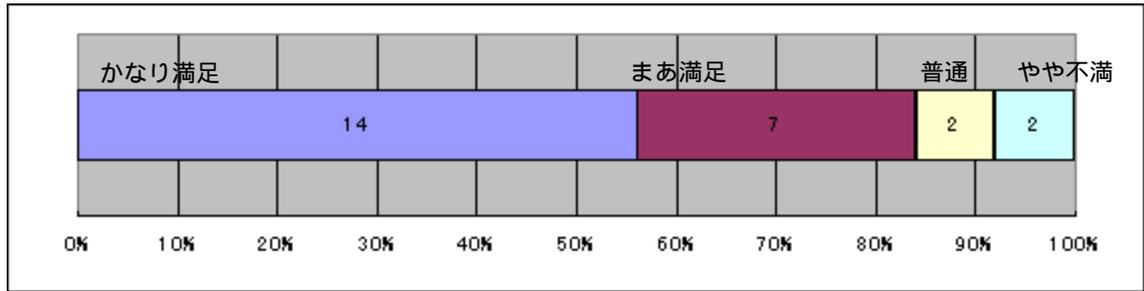
【気付き等】 ・時間におされて堪能できなかった。せっかくの美味しいお料理なのに時間がなく食べ残しがたくさんあったのは残念。

6 - (3) . 2 日目の田んぼコースの「もぎ取った野菜の料理などの昼食」の満足度



【気付き等】

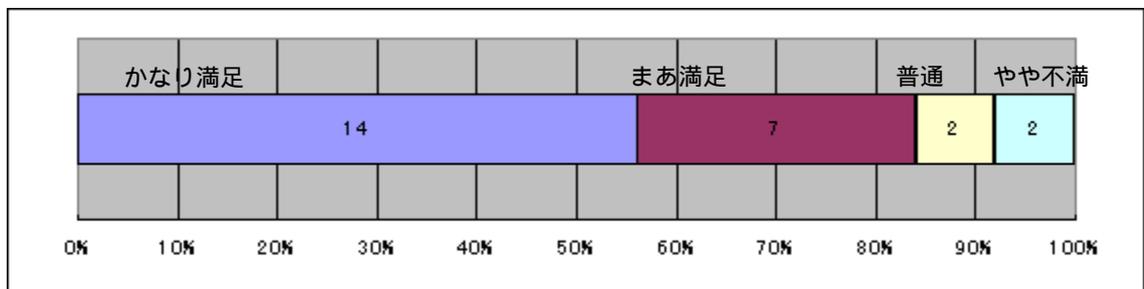
6 - (4) . 2 日目の畑コースの「そばや掘ったじゃがいもなどの昼食」の満足度



【気付き等】 ・野菜が多すぎる

- ・山菜の天ぷらは自分がとったということもあり大変おいしかった
- ・(子供)アレルギーが心配だった

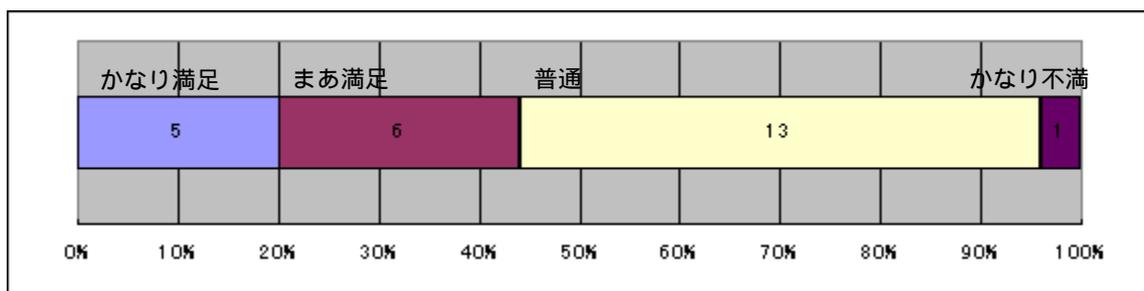
6 - (5) . 2 日目の夕食「バーベキュー大会」の満足度



【気付き等】 ・肉が少ない

- ・子供がおり他の人との交流があまりはかれなかった
- ・(子供)タレが辛くてあまりたべられなかった
- ・(子供)牛肉が苦手だったから

6 - (6) . 3 日目の昼食「物産館」の満足度

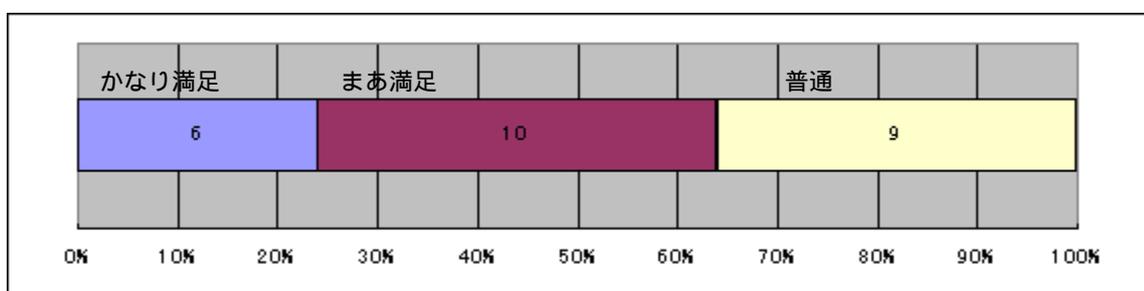


【気付き等】 ・郷土料理をもっと食べたかった(米沢牛だけでなく)

- ・全体的に価格が高い
- ・自腹だったので不満です

7 . 宿泊施設に関する参加者の満足度

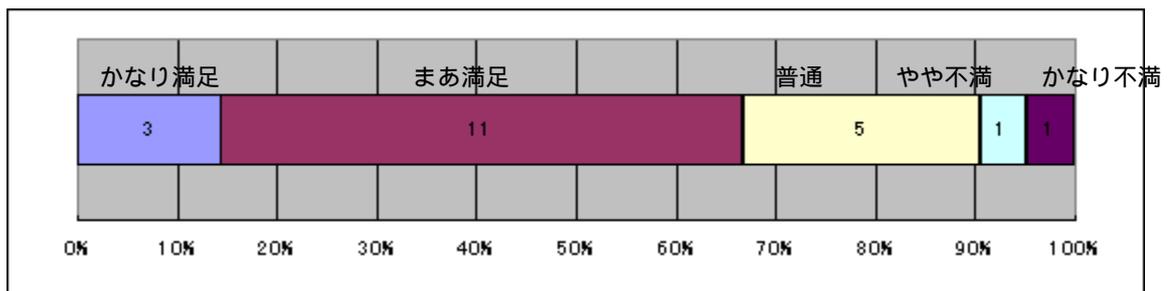
7 - (1) . 「白川荘」の満足度



- 【気付き等】 ・バスタオルを毎日交換して欲しい
 ・風呂が狭い
 ・白川荘の風呂がせまい。

8. ツアー料金に関する参加者の満足度

8 - (1) . パッケージ料金(会社助成を受け大人 19,800 円、子供 18,000 円に設定)
 の満足度



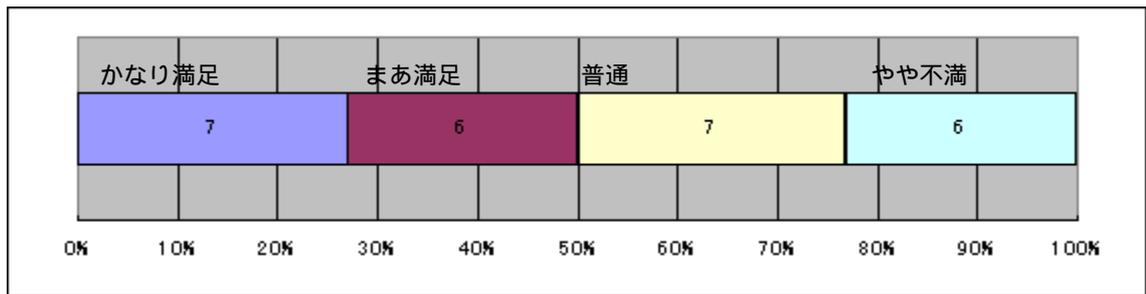
- 【気付き等】 ・確かに安いと思うが、家族 5 人で参加するとしたらもう少し安くして欲しい
 ・(仙台) 東京と仙台が同じ料金というのはかなり不満。仙台から参加の場合は値段を下げて欲しいです。また、大人と子供がほぼ同額でなく子供料金をもっと下げて欲しい。

【今回のツアー内容で最大どの程度の料金設定が可能と考えるか】

- 大人 12,000 円 子供 9,000 円
- 大人 15,000 円
- 大人 18,000 円 子供 12,000 円
- 大人 19,800 円 子供 16,000 円
- 大人 20,000 円 子供 14,000 円
- 大人 20,000 円 子供 10,000 円
- 大人 20,000 円 子供 17,000 円
- 大人 23,000 円 子供 18,000 円
- 大人 23,000 円 子供 20,000 円
- 大人 30,000 円 子供
- 大人 39,000 円 子供 30,000 円

8. ツアー日程に関する参加者の満足度

8 - (1). 今回の旅行日程(土曜日発2泊3日)の参加者の満足度



【気付き等】 ・日～火曜日にして欲しい

・木～土曜日がよい

・(子供)もっと長くいたかった

・出勤を考えると土曜帰りで一日休養を取ればありがたい

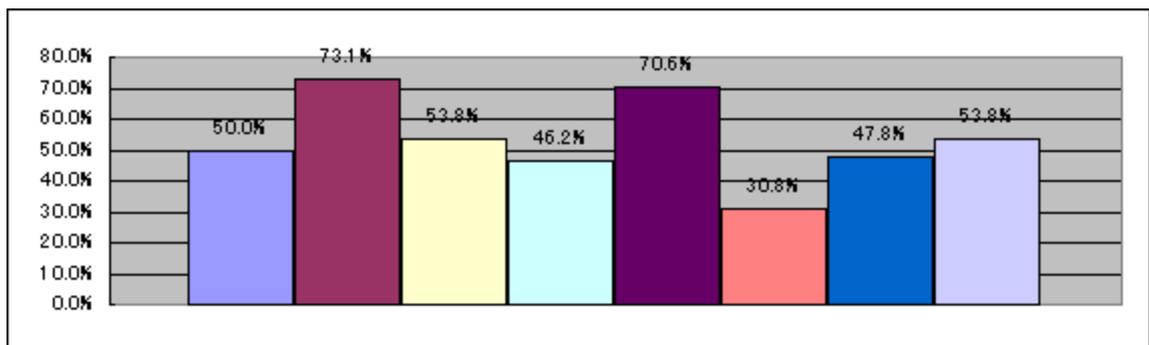
・土～月曜日は良いのですが、7/15～7/25 くらいの間であれば良い
と思います。

・(子供)もう3泊したかった

・月末を避けて欲しいです

9. ツアー全体に関して

9 - (1). 参加者がツアーに参加してよかったこと



とや自然の中であつたこき
らいたろを動かしたこか
がでんぼやこ細と農作業
こと自分で食つたり野菜な
とそば打ちができたこ
たこ料理が食べられ
竹細工ができたこと
わり豊町の人がたことか

【その他に良かったこと】

・子供と共通の感動を分かち合えた。一生忘れられない思い出ができたこと
思い出や感動お通して新しい人間関係を持つことができた。自分の中に新しい
価値観を見出せた。

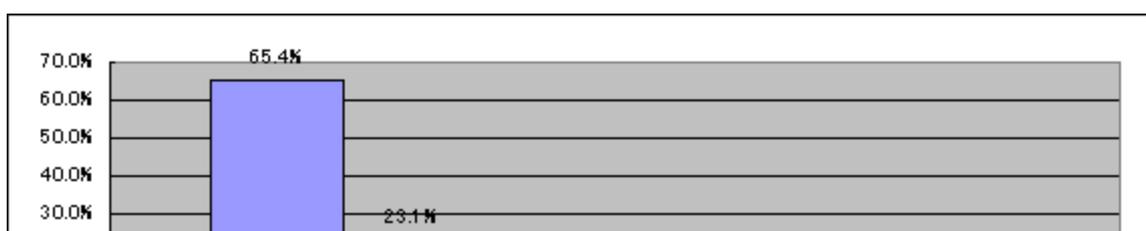
・(子供)友達が増えたこと

・(子供)飯豊町の文化と歴史を学べた

・釣堀で魚を釣ったこと

・全てよかったです。

9 - (2). 参加者がツアーに参加してよくなかったこと

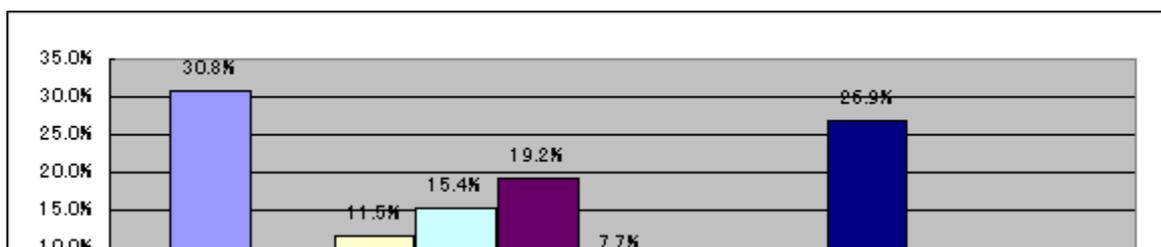


- ・盛りだくさんでなく、ひとつの作業を時間を掛けて行ったほうが良いと思う。
- ・(子供) 疲れないツアーにして欲しい。
- ・(子供) もっと声を掛け合う。(親) 楽しすぎて疲れすぎていた。もう少しゆったりしたスケジュールであればよかったかも。
- ・(子供) できれば2泊3日が3泊4日くらいになって、もう少し時間に余裕があればよくなると思います。
- ・(子供) 毎日自由時間を2,3時間とると時間に余裕があってよくなると思います。
- ・体験農地の土壌があまり良くない為、改良する必要がある。
- ・スノーエッグフェスティバルに日程をあわした割には見学する時間がほとんどなかった。花火大会は近くでみれてよかった。
- ・(仙台) ツアー全般的にもてよかったと思っています。ただ、ツアー料金についてはもう一度あると思います。
- ・(子供) 雑木林に入って、夜に昆虫を採りたかった。

9 - (4) . 参加者がツアーで発見したもの

- ・自然の中にいると子供は子供らしく、大人は大人らしく、それぞれの役割が自然と発揮されるようになることを感じた。人間の本来あるべき姿に戻ることは社会の健全性を保つためにも重要であると考え。GTによる効果は未知数だと期待している。
- ・本当の夏らしさを久しぶりに体感。農業のそれぞれの作業の必要性。本当の野菜の味。日本の田舎らしいおじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいから温かみ。
- ・このツアーを見たときに興味のある方や子供のいる家庭の方は行ってみたいという気持ちがあるのすごく湧くと思うのです(値段や内容からも)が行った方の体験談や口コミ、メールなどを使ってこのツアーの楽しさを伝えていく事で、もっと多くの方体験いただけると思うのでどんどんアピールした方が良いと思います。
- ・自然の偉大さ
- ・子供にとっては貴重な体験となると思う。
- ・農業と林業の大変さと高齢化の問題。
- ・子供に自然とふれさせること。子供達とともに農作業を体験させたいと思った。
- ・夏休み期間中でないときの子供の参加は難しい。
- ・子供たちにとっては大変良い場であったように思います。大人にとってもなかなか体験できない事を体験できた事もよかったと思います。
- ・(子供) クワガタ、カブトムシがとれて、竹細工のお土産もあり楽しかった。
- ・(子供) 山形県にはたくさんの自然が残っていることを知った。
- ・(子供) 親睦が深められて良かったです。
- ・自然とのふれあいの大切さがわかった。
- ・肉体的にはいろいろ体験をして体を動かしいい汗を流した。子供にとっては非常に良い体験だと思います。
- ・夜空がきれいでした。
- ・農作業がやはりおもっていたよりも大変体力を使う仕事と感じました。そば打ちなど初めて参加しましたがこれも思っていたより難しく時間をかけないとできないことがよくわかりました。
- ・(子供) 電気にいっぱい昆虫が集まっていた。飯豊町は東京から遠かった。田んぼの草刈をした草の中で菊のような草(よもぎ?)を牛がいっぱい食べていた。

9 - (5) . 参加者の今後の里山体験、農林漁業体験などグリーンツーリズムへの参加希望 (飯豊町に限定した設問ではなく、他で開催されている同様の体験も含めた参加希望)

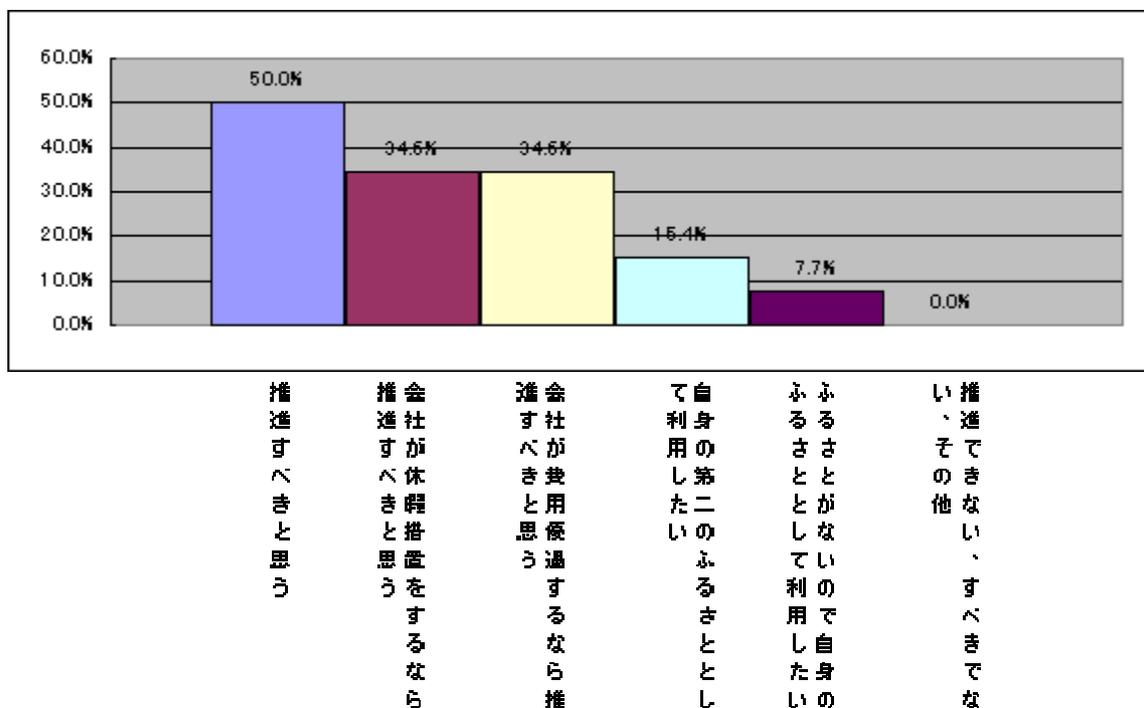


【その他の理由で参加意志あり】

- ・もう少しフリーな時間があれば
- ・(子供)友達と行きたい
- ・遠隔地への参加は受入地を選ぶ

【参加したいと思わない意見】

9 - (6) . 社会実験テーマである「企業ふるさと」に対する参加者の考え



【推進できない、すべきでない、その他の意見】

9 - (7) . その他、今回のツアーで参加者の気づいた点、全般の改善点など

- ・東京～飯豊町の距離はやはりつらかった。スローライフに重点を置いたメニューも良いと思う。思った以上にツアーは良かったです。

- ・個人で行く旅行ではできないその土地の方と交流がもてて楽しかったです。植物の先生からの説明やお話もありいろいろ学びました。
 - ・初参加でしたが、本当にいろいろなことを体験できてとても楽しい充実した3日間でした。地元が隣の私も知らないことがたくさんあって勉強になりました。食事はとにかく全ておいしかったです(食べなれているのもありますが)。こういうツアーはどんどん続けていったほうが良いと思います。
 - ・もちの歓迎は少々つらかった。お茶を飲む習慣ないのでしょうか(お茶が欲しい)
 - ・作業が使い捨てタイプではなく、通常の作業着(洗濯可能)でよいと思う。
 - ・スケジュールが過密。
 - ・ツアーのスケジュール連絡が不足(集合時間変更、服装の説明がなく日通の杜で作業ができなかった。もっと的確に指示してあげたほうがロスも少なくて済むと思う)。体験スケジュールの時間に余裕がなさ過ぎた(いろいろな体験ができた反面、あれこれすぎて一つ一つの印象が薄い)。
 - ・風呂が狭い
 - ・(子供)山形に、秋に行きたいです。
 - ・(以前飯豊町を訪れたことがあり)飯豊町の人々の心のあたたかみに引かれてツアーに参加しているわけだが、この取り組みを継続させるためにはビジネス的な視点も必要さと思う(飯豊町側に期待する点)。例えば、体験に人件費をかける(インストラクターをつける)もの、設備や場所を提供するサービス等の徹底化、参加者の研修(インストラクター要請講座 知材になる?)制度の整備、食事内容と量の最適化、ツアー料金と日程のバランス調整等、サービスの質の向上と低コスト化で後発事業者に対し、競争優位に立つためのビジネスモデルの構築が急務であると考え。
- この視点で捉えると、そば打ち体験は企画として完成度が高いと思う。また、森林関係の体験も飯豊の強みになりうると思う。(竹細工体験、森林ボランティア体験、虫とり体験(現段階では改善の余地あり))。更に飯豊牛の飼育体験や果実栽培(収穫はすでにあちこちで体験できる)等も是非取り入れて欲しい。本来ならばこのGTは年間を通して参加することが望ましいことを実感した。今の社会では現実的には難しいが、比較的経済的に豊かなリタイア層を対象とすれば十分可能なコンセプトだと思う。今は、対象を絞らず、GTの様々な可能性(発展性)をはかる段階かと思われるが、多角性を評価する中で、対象絞込みの視点を持ちつつ、今なすべきことを広角的に捉えて本社会実験を進めて欲しい。また、少しでも多くの人の意見を得るとともに、リピーターの巻き込みをしっかりとやるべきと思われる。宿は対象に応じていくつか。
- ・雨が降らなかったのも大変有意義に活動できたと思いますが、雨等荒れたときはうまく活動できるか心配。

・日通事務局からの意見(今後のイベントツアーに向けた修正検討依頼ポイント)メモ

以下は、参加者としてでなく、一步引いて事務局から見た気付き、修正検討をお願いしたいポイントです。

田んぼコース以外の部分についての意見を記載します(担当:桜井、順不同)

田んぼコースのメニューについては高騰で説明いたします。(担当:西田)

- 1.「全体のメニューが多すぎる」とのアンケート結果があるが、ストレートに受け取るのではなく、まず、各メニューに対する事前準備が不足していた結果、予定時間通りに進行できなかったのではないかと、どうかの検証をおねがいいたしたく。

- (1)各メニューの詳細部分をその場で決める動きが見えた(事前に揉んでいない、または足りないのでは)

- (2) 各メニューのリハーサルをしていない、または時間ロスの想定が甘いのではと感じる
- (3) 時間を厳守できないと「夕食」「風呂」といった一番ゆったりする時間にしわ寄せがいくので満足度を下げる結果となる。

時間厳守 せせこましい。時間厳守 = ゆとりの時間を確保するための必須要件。

たまたま実家に帰った時、「××をやりたいね」と“行き当たりばったりでやってみる”のならよいが、“旅行パンフを見た参加者がそれらをするために来る”ことに応えるには綿密な計画が必要。

できるかどうかわからないのなら、事前にできることを実践してからメニュー化すべきことでは。

2. ツアーメニュー（募集パンフ）に掲載されていることを実施しないのは契約不履行となる

- (1) 雪遊び・・・それ以前のメニューがおして実施できなかった（運営の問題）。
- (2) 昆虫とり仕掛け・・・あの場所で、桜の木で虫が採れるはずがないことを参加者の大人は気づいたが、黙っているしかなかった。（親としてはかわいい子供が町に裏切られた気分を持つ。）子供は真剣に取り組んでいるのでだますこととなる。
- (3) 川遊び・・・魚や生き物がいるか事前に調査の上、いる場所で実施しないと子供をだますこととなる。（親としてはかわいい子供が町に裏切られた気分を持つ。）
- (4) パンフに記載の時間通りに進まない（団体旅行であっても会社の研修ではないので、拘束されない個人の時間は重要。工程遅延すると個人の時間が短縮されるので不満が出る）。

たまたま実家に帰った時、「××をやりたいね」と“行き当たりばったりでやってみる”のならよいが、“旅行パンフを見た参加者がそれらをするために来る”ことに応えるには綿密な計画が必要。

できるかどうかわからないのなら、事前にできることを実践してからメニュー化すべきことでは。

3. 畑（体験農場）のあり方、体験のさせ方の大きな工夫が必要では。

- (1) 東京近郊で見る畑とは種類が違うことに対する誤解を解くべき。（東京近郊の畑はきれいに整備され、丁寧に扱われている）

「こんなのは畑ではない。俺たちを馬鹿にしている？」との意見を2人から聞きました 都市の人間が何をどう比較しているかを知り、“飯豊の畑はこうなんだ”ときちんと説明しないと誤解が広がる。

- (2) 食育、食農教育をする場にしないと意味が無い

いきなりクワでじゃがいも掘りをさせるべきではないし、じゃがいもを箱にほおりなげることに対し、そっと入れると注意しないのはおかしいのでは。（作物を大事にすることを教えるのが重要）

実際に農家がどうしているかという前に、本来のあるべき姿を教えないと農業に対する誤解、食に対する誤解、飯豊町に対する誤解を招く。

- (たとえ実生活と違っていても教育上は両方教える必要がある)

(誤解の発生場所が飯豊町、と言わせるべきではないはず)

大根の播種もやり方が大雑把過ぎないか

耕し方、畝の作り方、施肥なども含め本来あるべき姿を示さないと「農業ってこの程度のものなの？」、「野菜が安いのは当たり前だ」と誤解を招く。（農作物は本当はもっと高く売れてしかるべき食物では？）

時間のあるなしではなく、時間内にポイントだけを伝えるようにしないと誤解だらけに終わる

草が多いのはなぜか、本来はどうすべきなのか説得力のある説明がない。

東京には草がない畑が多い＝こだわり、日々、手で抜いているから。小面積であることは事実であるが、都市住人が普段見ているのはそういう畑であることが実態です。

草刈機の使用方法を教えるときにも、草刈機を使っているうちは草は永久になくならない、だから本来はどうすべきか、を一言加えるべきでは。

注意：東京近郊の畑が正しいというのではなく、都市から来る人間が普段どんな畑を目にしているかを知って、なぜ飯豊とは違うのかを説明しないと大変な誤解を招くことを懸念します。

4. そば打ち体験は先生の数が不足していた。
 (1) 経験上、2グループには一人の先生を配置しないと2時間では終わらないと思われます。事前の想定が不足では？
5. 飯豊町農学講座では各論の前に農業全体の総論的(学校の教科書的)話しをし基礎知識を与えないと意味がわからなかったり、質問や議論が収集がつかなくなると感じます。
6. 森林ボランティアでは基本的な危険回避策が欠けているのは。(同じ内容ではいつか事故が起こる)
 (1) 経験上、一般に森林活動の下刈りでは「刃物の届く範囲 = 数メートル = は離れる、斜面に向かい縦には並ぶな」などを常に監視する人間が複数起き、大声で注意が飛び交っている。
 (耐え切れず思わず口にしてしまったが、私がやるべきことではないはず)
 一般には森林ボランティア活動には全体コーディネーターの他に森林組合など職人(危機管理のプロ)を多く参加させていると思います。
 (2) 時間厳守のためには綿密な計画が必要では。
7. 田んぼコースに関する意見(西田から口頭説明)
 (1) 田んぼ草刈体験

 (2) 野菜もぎ取り体験

 (3) もぎ取り野菜の調理体験

 (4) 竹細工体験

 (5) その他
8. 春、夏リピーターの一人から参加理由を聞いたら、「町にあんなにしてみらうと、また参加しないのは悪いから行く」とのことであった。
 (1) 悪いから行く = 自ら率先して行きたいと思っているのではない
 自ら行きたいと思わせないとそのうち行かなくなる
9. 実験とは言え、GT 事業化を目的とするのであれば、また、自費を投じて参加してくれる顧客がいるのだから、「手探りで実施すればよい」とか「形を整えよう」という段階は終了すべきタイミングにあると思います。
 先進地視察により、メニュー細部の造り、各分野の指導者育成、運営組織作りなどの検証をしていただきたいと感じます。(良い事例、悪い事例をいくつも調査しないと答えはでないかも)
 また、都市住人の生活観、価値観を知るための視察を行うことは、飯豊町だからこそできるGT 事業化を検討する上で不可欠と感じます。
 (都市住人が普段どのように暮らし、そのような食料を調達し、どのように食べ、どのように遊び、どのように働き、子供達はどのような学校生活・塾通いをし、どのような遊びをしているか、都市住人のイメージしている田畑とは・里山とはどういうももので飯豊町の現実とイメージの乖離はどのようなものか、そして都市住人には何が欠けているのか、都市住人は自分の暮らし・田舎や農業に何を求めているのか等を積極的に知る機会を作られているでしょうか?)
 それらを理解しないと、飯豊町が都市住人に新たな価値観を与えたり、都市住人の意識改革をすることはできないと思われます。
 本実験のパートナーとして共に考え、議論する時間(実験企画の「サロン」の位置付け)も不足していますが、更に外に目を向け、行動を起こさないと事業家は困難と意識すべきタイミングにあると思います。

(2回のツアーを通して慣れてきた現状 = お互いが我慢しながらもそこそこ楽しい状況 = に満足しては、事業化にまで至らないことを懸念します。)

10. 生活者(特に女性)の視点を重視することが必要では。

GT のターゲットは20世紀型の企業人ではなく、彼らも含めた個々の生活者としての人間です。生活者の視点をきちんと持った人間のアイデアでなければ生活者を満足させることはできないということをアンケート各項の「気付き」欄から読み取れる部分が多くあります。

実際に世の中を動かしているのは消費者であり、消費者として必要な知識を持って生きている人間の多くが女性です。女性の視点を重視することが不可欠であると感じます。

以上

第3回飯豊町グリーン・ツーリズム アンケート(2006/10/8～10/10)調査結果

目 次

- . 今回の調査結果を読むにあたっての留意事項
- . 調査の概要
- . 調査結果の概要
- . アンケートの集計結果

. 今回の調査結果を読むにあたっての留意事項

1. ツアー参加者は47名、アンケート回収数は23件である。(10/19日時点)

2. 参加者47名の内訳

日通グループ社員 35名(男性29名 女性6名)
日通グループ社員家族 2名(女性2名)・成人家族のみカウント
東京農工大学職員 1名(女性1名)
大学生 2名(男性2名)
中学生 2名(男性1名 女性1名)
小学生 4名(男児3名 女児1名)
幼児 1名(女児1名)

47名の内、事務局5名

内、家族参加6家族(16名)、単独参加31名
内、東京近郊からの参加は35名、仙台5名、山形5名、福島2名
内、リピー参加者 2回目 = 8名、3回目 = 10名(初参加 = 29名)
家族でのリピー参加2回目 = 3家族、3回目 = 1家族

47名の内、一泊のみでの参加者 = 9名(フル参加 = 39名)

アンケート回収22名の内、他地域での里山体験・農作業体験などの経験者 = 3名(事務局除く)

3. 集計結果の多くのグラフ中の数値は当該人数を示している。これは、項目により母集団の数が極端に少ない場合に、その集約結果を構成率(パーセント)表示し評価を一般化する誤解を与えかねないことを懸念したためである。参考のための構成率はグラフ軸上のパーセント表示から読み取っていただきたい。

4. 飯豊町滞在中の天候

10/8(日)豪雨・「里芋掘り体験」から「そば打ち体験」に変更した(雨天時運営予定の通り)
10/9(月)曇り後晴れ
10/10(火)晴れ

. 調査の概要

1. 調査の目的

年4回実施予定の飯豊町グリーンツーリズムツアー(イベントツアー)参加者の満足度意識を把握し、今後のイベントツアー企画へ反映する。

2. 調査項目

- (1) 個別の体験活動について
- (2) 食事について
- (3) 宿泊料金について
- (4) ツアー料金について
- (5) ツアー日程について
- (6) ツアー全体について

3. 調査時期

10/10(火)解散式後、参加者にアンケートを手渡しし、10/13(金)を期限に、社内便、郵送などにて回収。(この報告書には10/19(木)AMまでに回収したものを集計している)

4. 調査方法

ツアー参加者への無記名アンケート

今回は帰宅のバス中ではなく自宅持ち帰り記載いただく方法をとった。(バスの中で記載するのは困難と判断)

5. 回収結果等

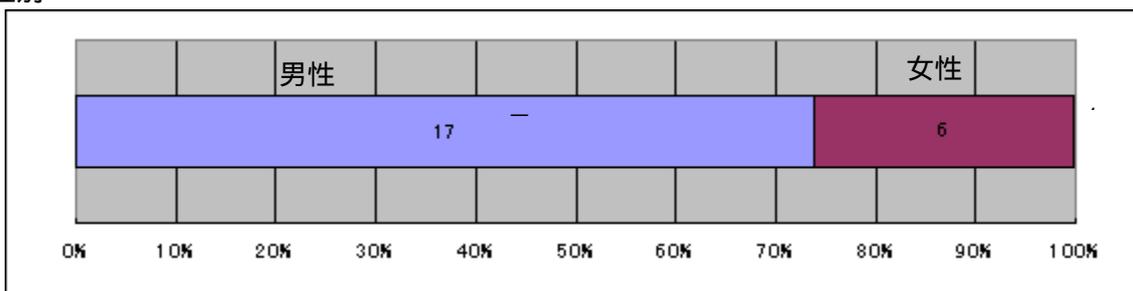
前述の留意事項参照

. 調査結果の概要 ・結果概要の記載を省略します

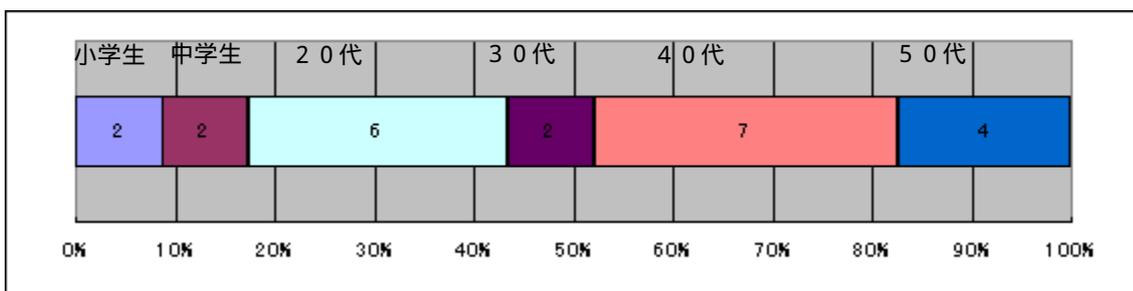
- ・アンケート記入者意見欄などで下線部分は記入者の考える「よかった点」を示す。
- ・アンケート記入者意見欄の右側に「()」印のあるものは集計者が重要と考える意見等が記載されているものです。(キーワードを追記しました)

. アンケート集計結果

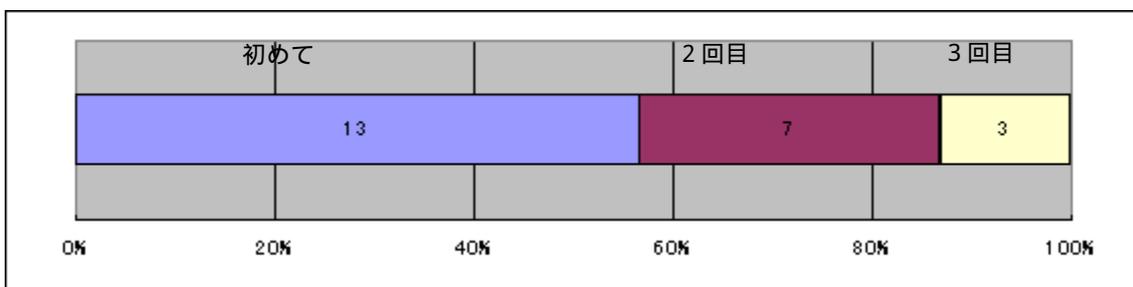
1. 性別



2. 年齢構成

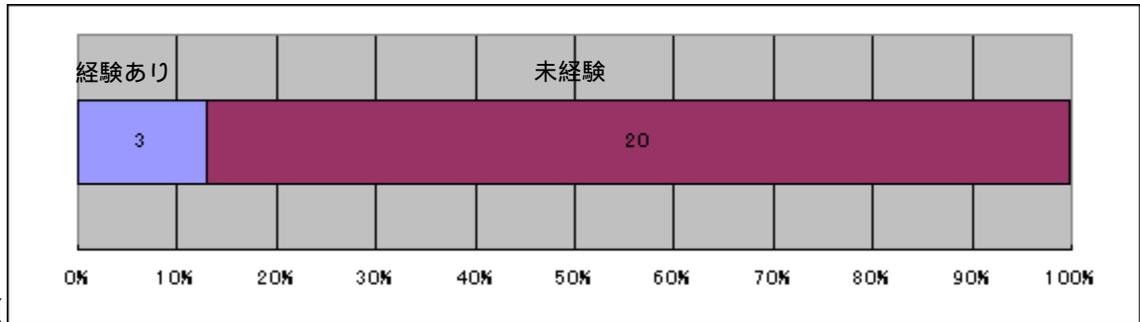


3. 飯豊町GTへの参加回数



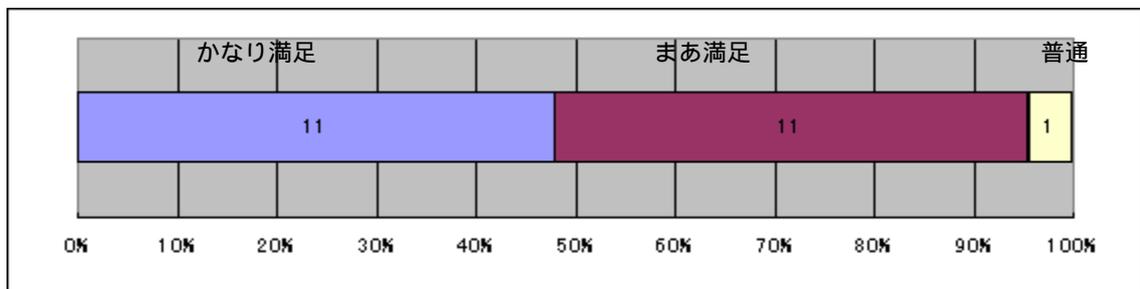
(参考)実際のレポート数は項 - 2「参加者の内訳」を参照のこと

4. 他地域における里山体験、農林業体験などへの参加経験



「他地域経験あり」と記載する

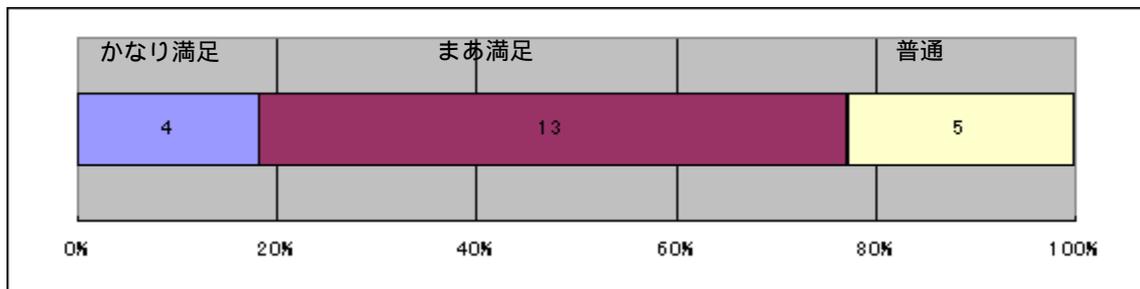
5. ツアー全体を通しての満足度



(参考)「普通」と回答した1名はアンケートの中で「実家が田舎なのでだいたいの事はできる」と記載し、またオプションの自由行動でも「何もなく、気温も高くなく、部屋で過ごした」と回答している。この類の旅行を自ら楽しむつもりが無い参加者であるかどうかの判断はできないが、こういう人々もターゲットにするかは、今後、飯豊町が判断する必要がある。

6. 個別体験活動に関する参加者の満足度

6 - (1). 初日の「そば打ち体験」の満足度(豪雨のため「里芋掘り体験」から変更した)

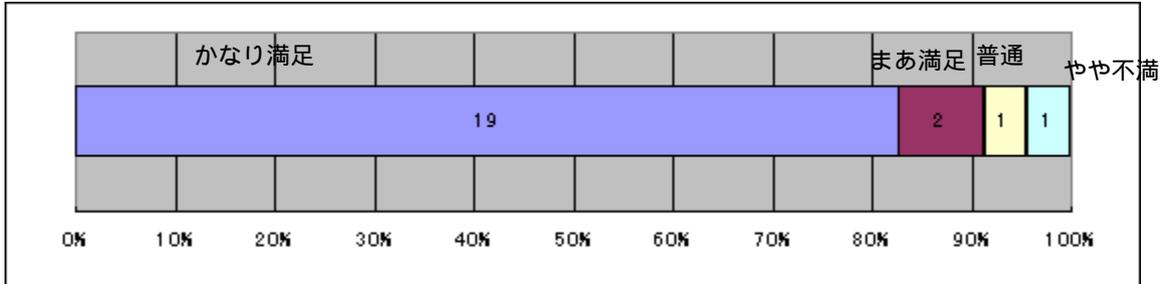


【良い・悪い点】・初めての経験であり満足

- ・自分達の打ったそばをできればその場で食べたかった()完結
- ・初めてやったので楽しかったです
- ・前回のツアーで体験済みであった。そばの味を変える(例・よもぎそば)などの工夫があるとベター
- ・中学生 芋掘りをとても楽しみにしていたので天候に恵まれなかったためにそば打ちに変更されてしまったのは残念だった

- ・小学生 そばをつくるとき、ぐちゃぐちゃにしまった
- ・説明が聞き取りにくかった。先生の数を増やして欲しい。やり方がわからない部分があった。自分の作ったものを食べたかった(誰が作ったものかわからない)()技術
- ・そば打ちを一度体験したかったのでよかった
- ・他地域で経験あり 各班人数が多かったので思うようにできなかった
- ・中学生 最初から最後までできてよかった
- ・小学生 そばを切るのがおもしろかった

6 - (2) . 2日目午前の「稲刈り体験」の満足度

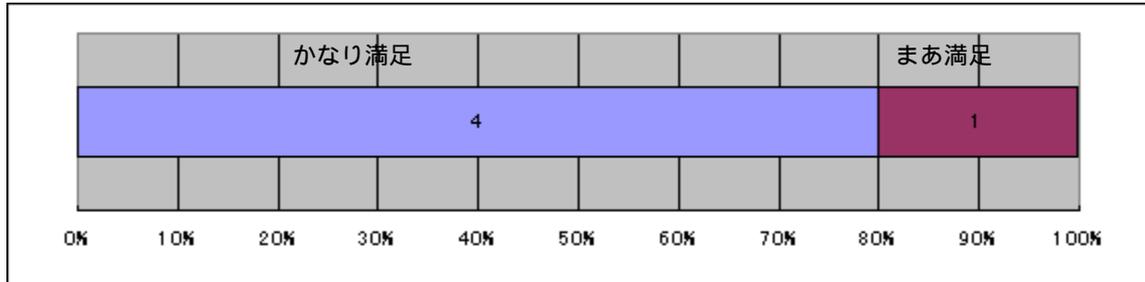


(留意点) 稲刈り会場は5箇所に分散した。各会場毎の集計をするにはサンプル数に偏りがあるため、前回上を一つの表に集計したものである。

- 【良い・悪い点】
- ・(浅野班) 米作りの大変さを少しわかっただけでもよかった
 - ・(浅野班) 稲刈りだけでなく酪農のこと米作全般の話も聞けました。作られた冊子までいただきました。
 - ・(浅野班) 農家の方の手料理が大変美味しかった
 - ・(浅野班) 経験があるので普通でした ()マーケット
 - ・(五十嵐班) 稲刈り以外に里芋掘り等の野菜の収穫、昼食の下ごしらえの手伝い等が体験できよかったです
 - ・(美米倶楽部) 他地域経験あり 機械に乗るのは楽しかったですが、待っている時間が少し長く感じた。農業生産現場で ISO や認証という言葉を知るとは思っておらず、話の内容も勉強になり感激した。()技術
 - ・(中西班) 土地の風土や歴史等の話も聞けておもしろかった
 - ・(中西班) たわわに稔った稲を手にとり、目にして、自然の豊かさを体で感じる事ができた
 - ・(中西班) 中学生 地元の人達と昼食を一緒に準備したり野菜を収穫した。地元の人達と触れ合う機会があるのは嬉しいです
 - ・(中西班) 小学生 はじめてで、やってみると失敗すると思ったがすぐらくにできた
 - ・(中西班) 座学もあり、手刈り、コンバインでの機械刈りと内容充実
 - ・(中西班) 座学は大人には興味深いものだった。夏より面白みがあった。子供には少し難しい部分もあったと思う。野菜のもぎ取り、軽トラの後ろに乗れたのが気持ちよかった。()技術、子供
 - ・(中西班) 事前座学が勉強になった。対応が親切、真心がこもっていた
 - ・(中西班) 小学生 ギザギザの鎌で自分で手で刈り取るところが良かったB。田んぼにイナゴがいて、その色が茶色だったのではじめはなかなか気づかなかったがいっぱいとれた。
 - ・(船山班) 天気が良くなり初体験できてよかったです。大変さがわかりました
 - ・(船山班) 他地域経験あり 家の歴史も聞き、農協、米の検査も体験できた。
 - ・(船山班) 他地域経験あり 普段聞くことができない話や、一生を通してできない体験ができた。天候と時間の関係で思う様にできなかったことはあったが
 - ・(船山班) 中学生 稲の刈り方やお米のことを教えてくれてよかった

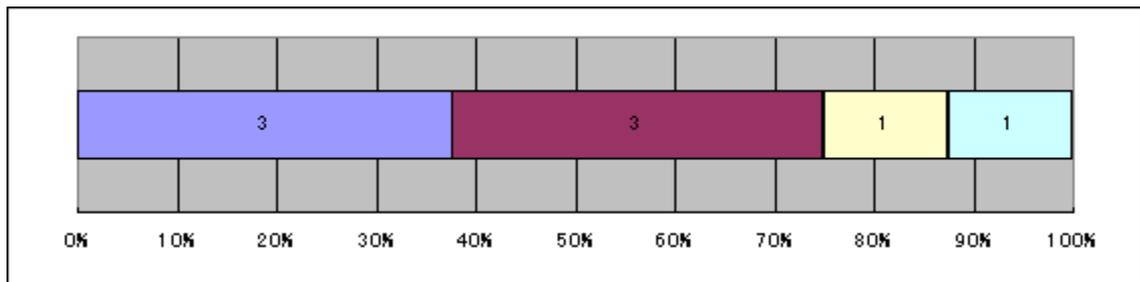
・(船山班)農家の方が温かく迎えてくれた点。お昼を外で食べたこと

6 - (3)A. 2日目午後の選択「思いっきり稲刈り体験」の満足度



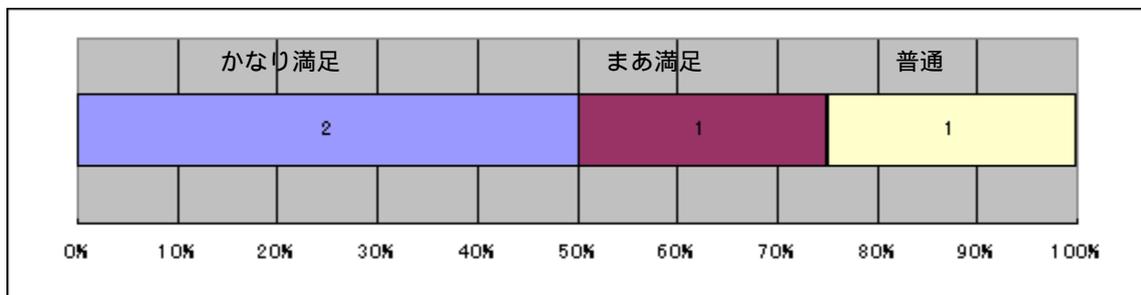
- 【良い・悪い点】
- ・コンバインを初めて動かした。農体験の醍醐味をおしげもなく味わえた
 - ・中学生 コンバインに乗れたことは多分そこでしかできないことだと思う。貴重な体験になった。稲作の説明について、私は春や夏は参加しなかったので1年の作業工程を説明していただいて稲作がいかに大変かがよくわかりました。
 - ・小学生 コンバインに乗ってたのしかった
 - ・稲刈り～乾燥まで体験できたのは良かったが、工程毎をもう少しわかりやすく説明して欲しかった。(子供のレベルまで下げるくらいに) ()技術
 - ・小学生 大きな稲刈り機を運転できて気持ちよかった。空気が東京に比べて澄んでいた。

6 - (3)B. 2日目午後の選択「源流の森散策」の満足度



- 【良い・悪い点】
- ・山登りだとは思っていませんでした ()相違
 - ・長靴での登山は長靴が足にあっていなかったものもあったが足が痛くなった。山に登るのならそういうアナウンスが欲しかった。 ()運営
 - ・まき拾いはシャツが汚れるのでやめた方が良い(旅先で洗濯できない)
 - ・山頂からの眺めがすばらしかったです。(散策ではなく登山でしたが)
 - ・他地域経験あり 山と自然を楽しむはずが軽い登山になった
 - ・中学生 時々木や草の説明をしてくれてよかった
 - ・散歩程度と思っていたが山はかなり急斜面でした。下りが怖い。

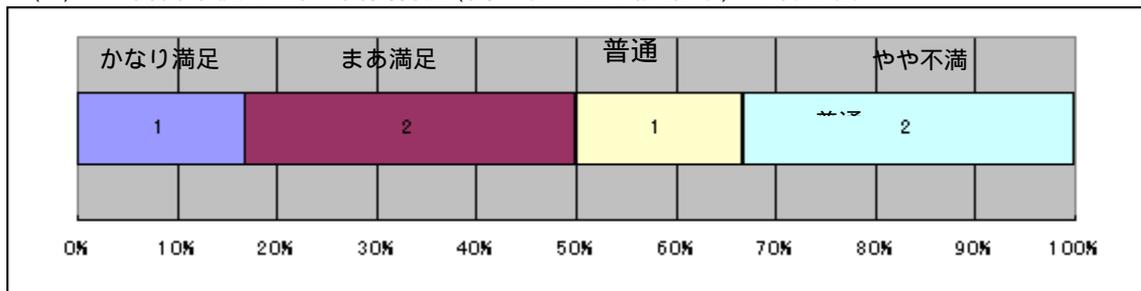
6 - (3)C. 2日目午後の選択「ひまわり収穫と油絞り体験」の満足度



【良い・悪い点】 ・指導の仕方がとてもよかったです。油の試食もあり準備も大変だったと思います。よかったです。

- ・作業してその後アスパラを食べられたのが良かった。
- ・他地域経験あり ひまわり油に対する夢や地域活性化の話も良かった

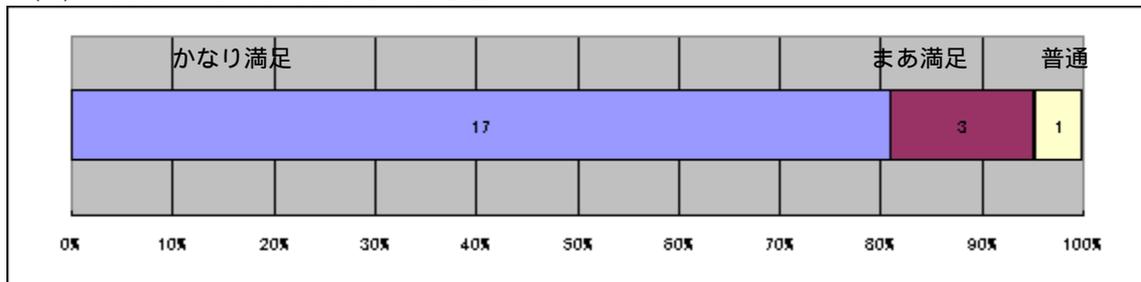
6 - (3)D. 2日目午後の選択「自由行動(白川荘近辺の散策等)」の満足度



【良い・悪い点】 ・時間が少ない

- ・地元の方との交流の時間にしてもいいかと思う
- ・ゆっくりフロに入り、山や川をゆっくり見れた
- ・前回行った釣堀に行ったのですが楽しかったです
- ・何も無いのと気温が高くなかったため部屋ですごした () 無いこと

6 - (4) . 3日目の「芋煮作り体験」の満足度



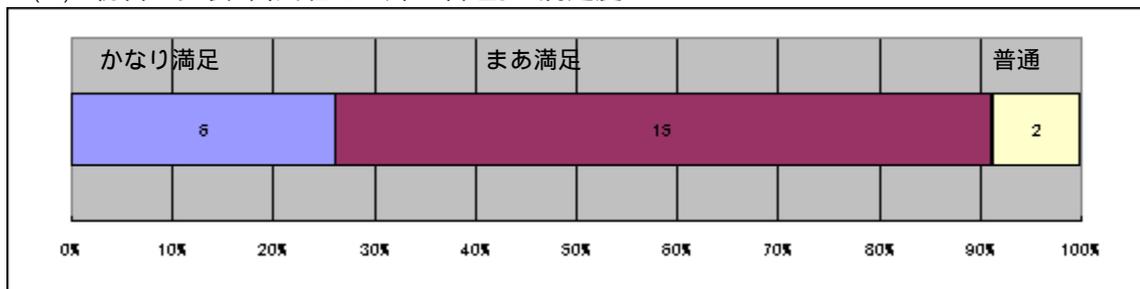
【良い・悪い点】 ・大変おいしく食べました

- ・初めての芋煮と現地の人が作ってくれた手料理の両方ともおいしかったです
- ・大変美味でした
- ・なによりも美味しく最高でした
- ・子供の頃のフロの炊きつけを思い出し田舎のことを思うことができた
- ・芋煮の始まりから丁寧にご説明くださった事にとても嬉しく思いました。
- ・中学生 山形では有名な伝統料理が食べられてよかった。また、班によってそれぞれ味の差があって同じ素材と同じ調味料なのに面白いと思った
- ・小学生 まきや枝をのつけて焚き火をした
- ・朝食後あまり時間が経過していなかったのが残念でした。味はおいしかった。
- () 構成
- ・帰る日でなく前日の午後行い夕食、宴会と一緒にする
- ・自然の中で自然の物を食べるという貴重な体験ができました

- ・ 他地域経験あり もう少し時間があればよかった。村のおばあちゃんとのふれあい が楽しかった
- ・ 他地域経験あり 自然の恵みを野外で楽しみ大変満足でした
- ・ 中学生 石の形作りからやったのでどういうふうに石を置けばよいのかがわかってよかった
- ・ 火越しからやった事。私たちの鍋はからになったがかなり残っているところもあった。
- ・ 朝食がなくてもよかったかもしれない
- ・ 小学生 自分でまき割りをさせてもらい楽しかった。ドキドキした。

7. 食事に関する参加者の満足度

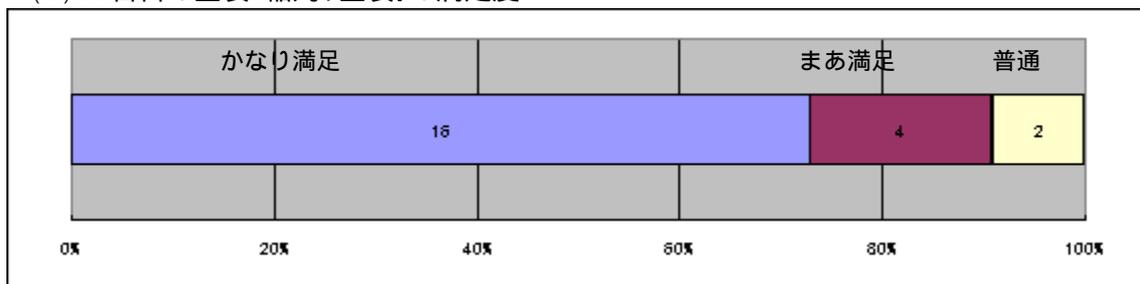
7 - (1). 初日の夕食「白川荘での郷土料理」の満足度



【良い・悪い点】 ・ 米沢牛ステーキの量が少なかった () 特産物

- ・ 印象薄く覚えていません () 目玉
- ・ 席の配置の仕方が悪い(となりの人との会話が多くなる)
- ・ やまめの塩焼きがおいしかったです
- ・ マツタケ、米沢牛が食べられてよかった
- ・ 挙げたての天ぷらをいただくことができおいしかったです
- ・ 他地域経験あり 地元のものにこだわっているのが良い
- ・ おいしかったです。夏ツアーのような形で(2日目の懇親会のような)やった方が、 食事も取り分けていろいろなものを楽しめるのでそのほうが良いと思います。
- ・ 茶碗蒸しがおいしかった
- ・ 中学生 キャンプの時のようにくしを魚に刺して焼いている魚は初めてだったので 少し驚いた。 また、昼に作ったそばが自分で食べられてよかった () マーケット
- ・ 小学生 川の魚やまめを食べた
- ・ 今までに食べたことのない物を食べることができ良かったです
- ・ 他地域経験あり 田舎料理で現地らしい
- ・ きのこと類が多くヘルシーでよかった

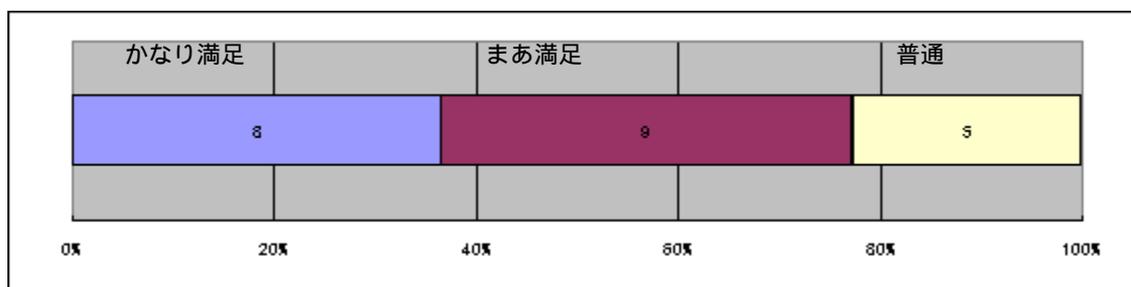
7 - (2). 2日目の昼食「稲刈り昼食」の満足度



(留意点) 稲刈り場所は5箇所分散した。各圃場毎の集計をするにはサンプル数に偏りがあるため、全圃場を一つの表に集計したものである。

- 【良い・悪い点】
- ・(浅野班) 本当の地元の家庭食が食べられたのはよかった
 - ・(浅野班) もちろん満足ですが、受入のお宅にあそこまでしてもらうのはどうかと恐縮感が大 ()もてなし、コスト
 - ・(浅野班) 自然食でとてもおいしかった
 - ・(浅野班) 現地のとれたてのものが食べられておいしかった
 - ・(浅野班) 新米が美味しかった
 - ・(五十嵐班) 本当にお世話になり、おいしく、楽しく、良い思い出になりました
 - ・(中西班) 白川荘にない郷土料理を出してもらった
 - ・(中西班) 中に味がしょっぱくてあまり進まなかったものがありましたが、ほぼ満足でした ()マーケット
 - ・(中西班) 中学生 自家製の野菜を使った料理が主でしたが、野菜の大きさにまたびっくりした、大根の葉など普段あまり食べないものの料理が食べられてよかった。
 - ・(中西班) とにかくお米がおいしかった。参加者にもっと何か手伝わせるくらいでも良かった。
 - ・(中西班) 家庭料理が美味しかった
 - ・(船山班) 炭火で焼いたアユがとても印象的でした
 - ・(船山班) 他地域経験あり 庭で農の話を聞きながらの料理は最高でした
 - ・(船山班) 中学生 新米のほかにもいろいろなものを食べさせてもらったのでよかった
 - ・(船山班) 農家の方がまごころこめて作ってくれたのでとてもおいしかった

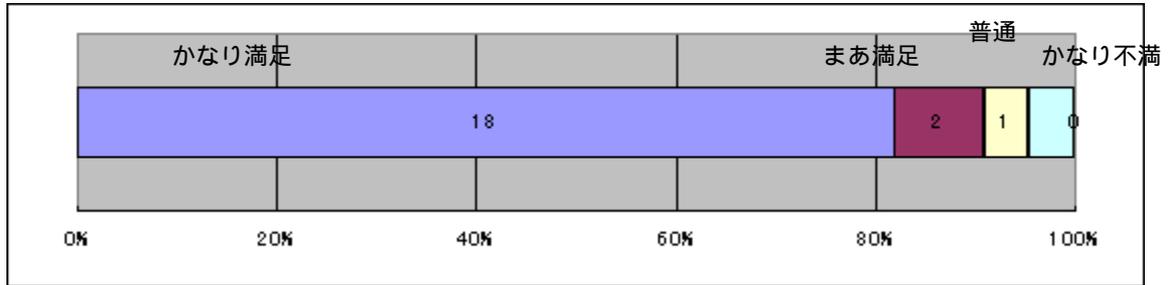
7 - (3) . 2日目の夕食「交流夕食会」の満足度



- 【良い・悪い点】
- ・地元の方にはかなり詳細な米作りに関わる話を聞いた
 - ・肉、魚、野菜のバランス的によかった
 - ・魚のお酒は合わなかった
 - ・量がもう一割ほど少なくてもよかったと思います。
 - ・他地域経験あり 交流会として最高ですが、終わったときの残り物の多さが気になりました。食料問題について考えるとき、食品ロスの、問題も考えると、もっと有意義なツアーになると思う ()食事
 - ・初日と昼食と材料がダブってしまった ()食事
 - ・会場が広すぎた
 - ・町の方が多く参加してくれて良かった
 - ・座席の設定をもっとうまくすればよかった
 - ・地元の人達と交流ができた。宴会時間がもう少し長い方が楽しめるのでは

- ・現地の人の話をもっとたくさん聞きたかったです。前回やった昔話(語り部)を聞きたかったです。
- ・他地域経験あり 村の人たちとの交流がよかった
- ・他地域経験あり 一日目と二日目の昼とダブリがあり少し残念
- ・昼間お世話になった人に会えたこと。いろいろ話げできたこと

7 - (4) . 3日目の昼食「芋煮と新米おにぎり」の満足度

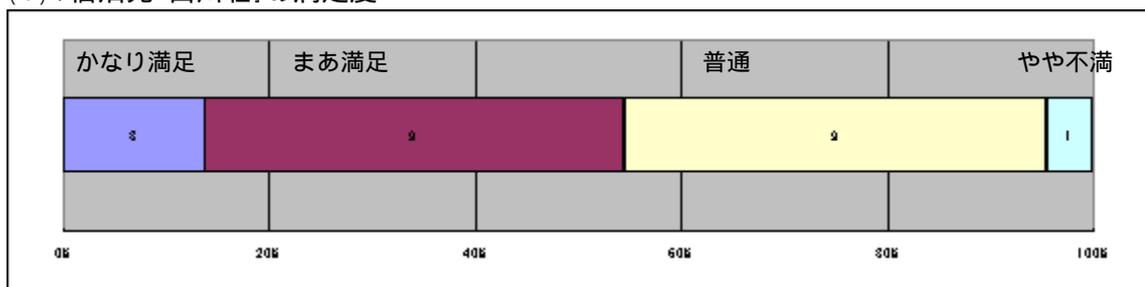


【良い・悪い点】 ・とてもおいしくいただきました

- ・少々簡単すぎ？ですが味は最高でした。
- ・調味しょう油の為、甘すぎて食べれなかった
()食文化、こだわり、消費者教育
- ・芋煮は味もよく新米おにぎりは何も付けなくてもおいしく食べられた
- ・初めて食べましたが大満足です
- ・時間があつたらもっといただけたかなと思ったりしています。先生方の漬物等本当に申し訳ないほど嬉しかったです
- ・里芋、最高
- ・味もよかった。もっとゆっくり川原でやりたかった
- ・芋煮、新米おにぎりは文句なく満足しましたが、その他の色々工夫したおいしい惣菜を作ってきていただいたのがとてもよかった。みんな喜んでおりました。
- ・準備や後片付けの手間を考えると普通のツアーではぜったいこのようなメニューは組めなかっただろう。“企業ふるさと”の企画だから実現できたことだと思う
- ・中学生 芋煮というものも初めて食べられてよかった。地元の人々にもまた一歩近づけた気がする
- ・朝食後あまり時間が経過していなかったのが残念でした
- ・時間的には問題もあるがもう少し時間をずらして欲しかった。お腹に入らなかった。
- ・新米を食べる機会はないのでとても心に残る味でした。青空の下とてもおいしくいただけました。
- ・他地域経験あり 新米のおにぎり、その他おいしかった
- ・他地域経験あり 言う事なし
- ・中学生 自分達で作った芋煮が最高においしかった
- ・皆で協力して作ったのでおいしさも格別
- ・小学生 ずんだの団子のずんだ部分が少しニガテだった。

8 . 宿泊施設に関する満足度

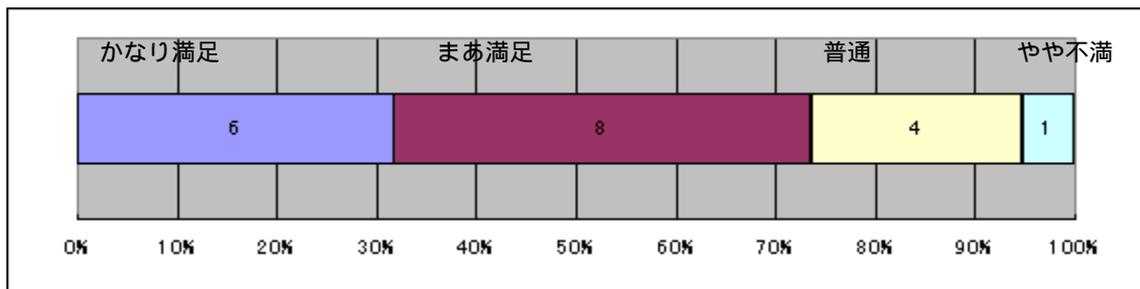
8 - (1) . 宿泊先「白川荘」の満足度



- 【良い・悪い点】 ・泉質が冷鉱泉というのがちょっと…。Vodafone が圏外というのがちょっと…。
- ・山の上すぎて景色がいまいち。受入農家さんのあたりが最高。
 - ・もう少し少人数部屋(の方が)よかった
 - ・フロントは前回と同じ感じがよかったです。他の従業員の方もよかったです。風呂場にドライバーが1台しかなく思うように使用できなかったのも2台置いていただくともっと良いです ()設備
 - ・温泉を24時間は入れたらいいと思いますが…
 - ・子供にも十分なもてなしがあり安らげた
 - ・温泉がとてもよかったです。晴れている時のお風呂からの眺めを見たいです。
 - ・ 他地域経験あり ツアー料金が安いのではないと思いますが風呂が狭く感じました
 - ・トイレがついていない
 - ・ 小学生 夏と同じ場所だったので、違うことがなかったのが良かった。

9. ツアー料金に関する参加者の満足度

9 - (1) . パッケージ料金(会社助成を受け大人 19,800 円、子供 18,000 円に設定)の満足度



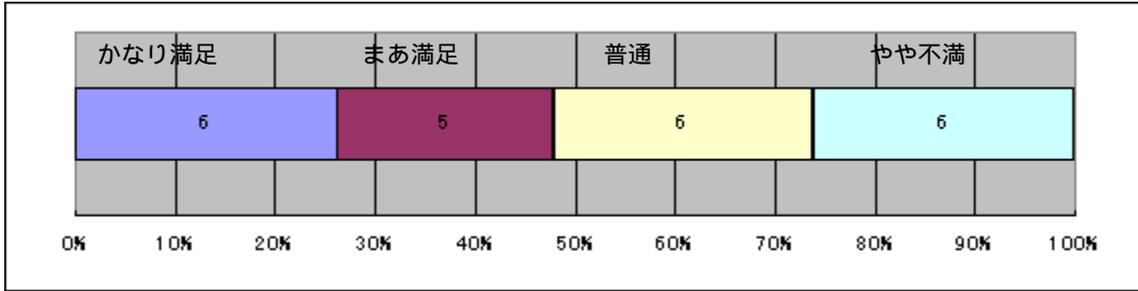
- 【良い・悪い点】 ・もう少し安くできれば一層よかった ()コスト
- ・他のツアーと比較するとコスト面は気になる

【今回のツアー内容で最大どの程度の料金設定が可能と考えるか】

大人	子供
15,000 円	10,000 円(2名)
17,000 円	15,000 円
19,800 円	10,000 円
20,000 円	10,000 円
24,000 円	18,000 円
25,000 円	10,000 円(2名)
25,000 円	15,000 円
25,000 円	20,000 円(2名)
25,000 円	
29,800 円	22,000 円
35,000 円	20,000 円
39,000 円	30,000 円
42,000 円	32,000 円

10. ツアー日程に関する参加者の満足度

10 - (1) . 今回の旅行日程(連休2日 + 平日2泊3日)の参加者の満足度

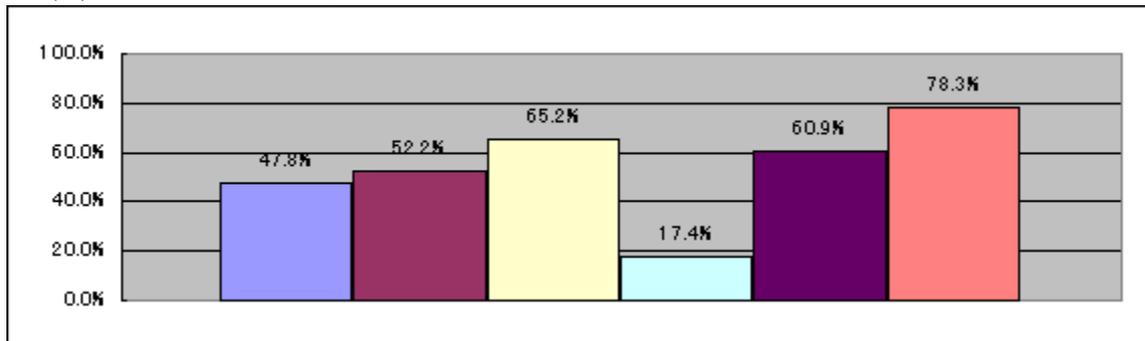


【良い・悪い点】・できればツアーの翌日は休みの設定にして欲しい

- ・最終日はもう少し早めに帰りたい
- ・移動時間(バスでの)がもったいない
- ・もう一日ゆっくりできる日が欲しかった
 - ・中学生 私は学校を休まなければいけなかったところが困った。でも往復それぞれ渋滞に巻き込まれなかったのはそのおかげだったかもしれない
- ・帰ってきて休みがあればなお良い
- ・もう一泊したいところだが、なかなか休みお取れない事情もあり複雑です
- ・連休の交通渋滞を考えると平日の方がよい
- ・他地域経験あり バスが長く疲れた
- ・移動時間がかかりすぎる
- ・小学生 学校のドッチボール大会と同じ日だったので…

11. ツアー全体に関して

11 - (1) . 参加者がツアーに参加してよかったこと

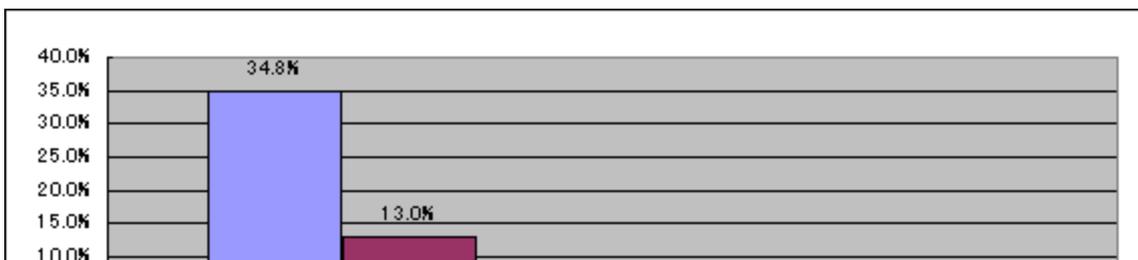


とや自然の中であつた
 ら自然の中であつた
 が田舎の風景
 自分でつくった野菜
 た郷土料理
 り飯も町の人々と関わ

【その他に良かったこと】

- ・日通の方々と関わりが持てたこと
- ・自分の田舎や子供の頃のいい思い出が浮かんできた
- ・小学生 お友達とまた会えたこと
- ・他地域経験あり 農に対する情熱が若い人たちから聞いたこと ()若者
- ・他地域経験あり 家族とのふれあい ()家族

11 - (2) . 参加者がツアーに参加してよくなかったこと



【その他に良くなかったこと】

- ・バス移動がつらかった
- ・飯豊の歴史や生活等文化を学ぶ時間が欲しかった ()文化
- ・地元の若手の積極的な参加があまりなかったこと ()若手
- ・中学生 地元の人の方言をあまり理解することができず会話が進まなかった
- ・他地域経験あり 重要な事前説明が少し不足していた様に思いました ()運営
- ・バスに乗る時間が長い

11 - (3) . 参加者の考えるツアーのよくなかったことの改善方法

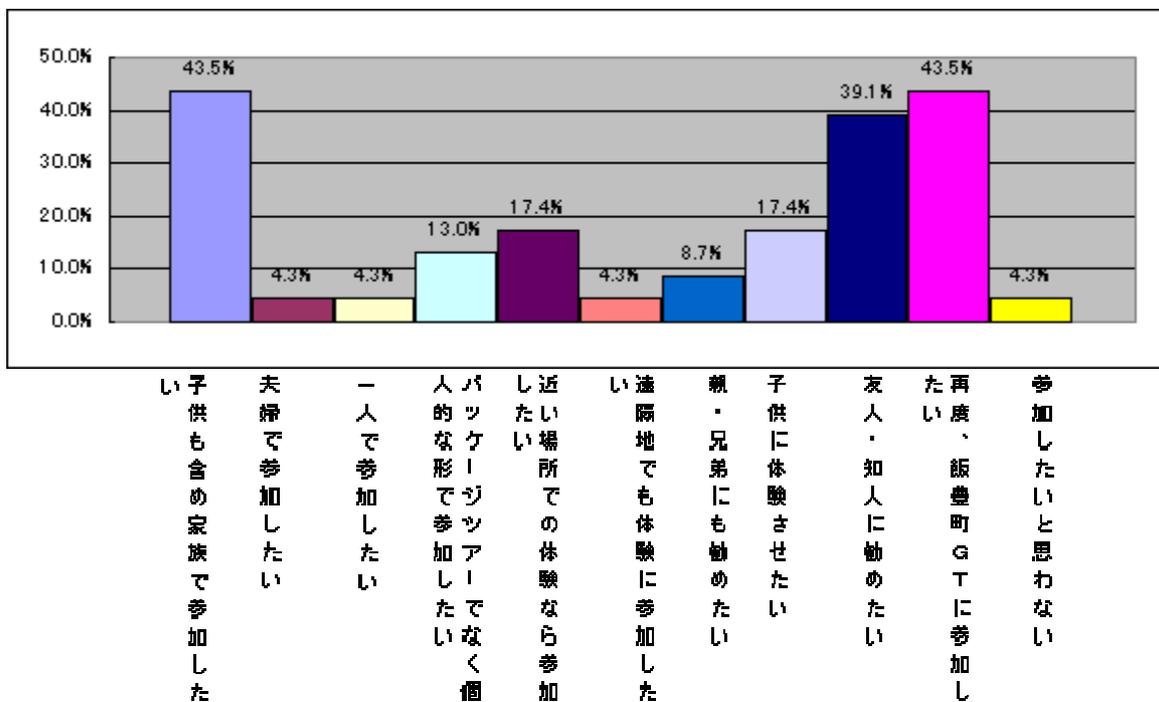
- ・3泊4日に延ばす
- ・他の交通手段の選択(電車など)もあってよいのでは
- ・バスの長時間移動、往きの喜多方経由は余計長く感じさせる
- ・移動時間が長かった
- ・体験は体を動かすことだけではなく、町の人やお年寄りとの会話(お酒の入らない時間帯)も入れればよい
- ・この取り組みについて町民にどれほど情報提供がなされているか？学生ボランティア等を募集できないものか？ ()姿勢、若者
- ・中学生 体験の中でやり遂げることができなかったといういのはそれほどメニューがいっぱいあったということだと思う。それはそれでたくさんのが少しずつでもやれるからいいと思う
- ・飯豊町から支給される長靴など手渡しのタイミングが悪い。あらかじめサイズを聞くなどして参加者の手荷物がかさばらないようにできないか ()運営
- ・他地域経験あり もう一泊増やす
- ・他地域経験あり ツアーの案内書を一週間前に、持ち物を各参加者からアンケートをとり事前に必要なものを告知する。各日の体験のときの服装や持ち物の案内を前日に告知する
- ・中学生 バスの休み時間をもう少し長くできればいい
- ・もう少し近いといいです

11 - (4) . 参加者がツアーで発見したもの

- ・米作りの大変さと酪農も少し見学したが、牛を飼う大変さもわかってよかった。子供にも是非体験させてあげたい ()教育
- ・現在も食品はできる限り国産を購入していますが、ますますその気持ち強いものになりました ()食農
- ・20代の若い人もやりがいをもって農業に打ち込まれている姿に感動した()若者
- ・農家の仕事のほんの一部だが体験できたり、農家の方との話をするのは良いことだと思った
- ・田舎の景色が心地よくなつた

- ・子供達が一番飯豊町の自然などを楽しんでいたと思います。
- ・林業、山林との共生もアピールすべきだ。水資源、清流の源は山にあると思う
()山林資源
- ・農村地の人口減少や休耕地化は地域にとっては非常に深刻な問題となっていることを実感した ()姿勢、若者
- ・小学生 山形にはイナゴやトンボなど虫がたくさんいることがわかった
- ・都会とは違う「季節感」を体験できた。都会にはない「実りの秋」があった。労働に対する収穫物があつて気持ちよかった。()食農
- ・今回は参加した子供が楽しそうだった。米作りの奥の深さがわかった。
- ・都内の小学生にもぜひ体験してもらいたい。逆に現地の人(小学生)に東京に来てもらいたい。昔の人は稲刈りを手でやっていたので自分体験して大変さを知りました。
()子供
- ・他地域経験あり 飯豊町での子供楽園村開催。農を通じてやる気、生きる力、物を大切にする心、みんなと仲良くすることを育てる ()食農、教育
- ・他地域経験あり 農家の方の苦勞。地元の方々の団結力。米の流通価格など勉強になった ()消費者教育
- ・中学生 東京と違うすばらしさがわかった
- ・いなかののんびりした空気。温かい人達とのふれあい
- ・小学生 おもちと里芋を合体させて団子を作るとおいしいこと！ 稲の大きさに比べてお米の部分が思った以上に少ないこと

11 - (5) . 参加者の今後の里山体験、農林漁業などグリーンツーリズムへの参加希望
(飯豊町に限定した設問ではなく、他で開催されている同様の体験も含めた参加希望)



【その他の理由で参加意志あり】

【参加したいと思わない意見】

- ・実家が田舎なのでだいたいのことは体験できる ()マーケット

不便。途中下車、乗車など交通手段の検討。バスだけでなく鉄道、マイカーでの参加検討。
家族部屋、禁煙部屋の設置

- ・現地の子供も一緒に交流できればよいと思いました。子供のときから仲良くなって大人になるまで交流が続けばすばらしいと思います。()子供、マーケット
- ・他地域経験あり 宿泊場所を検討要。体験は問題なし。食事は言うことなし。できればもっと広げてこういう体験を若い人にさせたい。漁業も検討すべきではないかと思います。()宿泊、プライベート
- ・いなががないので今回体験したことは本当に良かったと思います。

以上

2007年2月17日

日通総合研究所 桜井

第4回飯豊町グリーンツーリズム アンケート(2007/2/9～2/11)調査結果

目次

- . 今回の調査結果を読むにあたっての留意事項
- . 調査の概要
- . 調査結果の概要
- . アンケート集計結果

. 今回の調査結果を読むにあたっての留意事項

1. ツアー参加者は 37 名、アンケート回収数は 24 件である。(2007/2/16 日時点)
 2. 参加者 37 名の内訳
日通グループ社員 27 名(男性 24 名 女性 3 名)
日通グループ社員家族 3 名(女性 3 名)・・・成人家族のみカウント
運輸新聞社員 1 名(男性 1 名)
東京農工大学職員 1 名(女性 1 名)
小学生 4 名(男児 3 名 女性 1 名)
幼児 1 名(女児 1 名)
- 37 名の内、事務局 5 名
内、参加 7 家族(15 名)、単独参加 22 名
内、東京近郊からの参加は 32 名、仙台 4 名、山形 1 名
内、リピート参加者 2 回目 = 4 名、3 回目 = 11 名、4 回目 = 7 名(初参加 = 15 名)
家族でのリピート参加 3 回目 = 3 家族、4 回目 = 1 家族(初参加 = 3 家族)
- 37 名の内、一泊のみでの参加者 = 1 名(フル参加 = 36 名)

アンケート回収 24 名の内、他地域での里山体験・農作業体験などの経験者 = 6 名

3. 集計結果の多くのグラフ中の数値は該当人数を示している。これは、項目により母集団の数が極端に少ない場合に、その集計結果を構成率(パーセント)表示し評価を一般化する誤解を与え兼ねないことを懸念したためである。参考のための構成率はグラフ軸上のパーセント表示から読み取っていただきたい。
4. 飯豊町滞在中の天候
2 / 9(金) 曇り時々晴れ
2 / 10(土) 曇り一時雨
2 / 11(日) 風雪

. 調査の概要

1. 調査の目的
年 4 回実施予定の飯豊町グリーンツーリズムツアー(イベントツアー)参加者の満足度意識を把握し、今後のイベントツアー企画へ反映する。
2. 調査項目
(1) 個別の体験活動について
(2) 食事について
(3) 宿泊施設について
(4) ツアー料金について
(5) ツアー日程について
(6) ツアー全体について
3. 調査時期
2 / 11(日)解散式後、参加者にアンケート用紙を手渡しし、2 / 14(木)を期限に、社内便、郵送などにて回収。(この報告書には 2 / 15(金)までに回収したものを集計している)

4. 調査方法

ツアー参加者への無記名アンケート

今回は帰宅のバスの中ではなく自宅に持ち帰り記載いただく方法をとったバスの中で記載するのは困難と判断)

5. 回収結果等

前述の留意事項参照

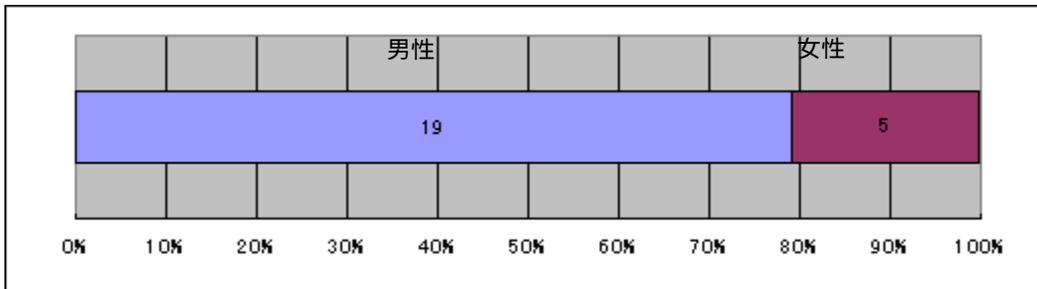
・調査結果の概要・結果概要の記載を省略します

・アンケート記入意見欄などでは各文章の先頭に「 ・×」印を付加しています。
は概ね肯定的意見や感想などを、×はひとつでも否定的な表現を含んでいる意見や感想などを記載し分類しています。

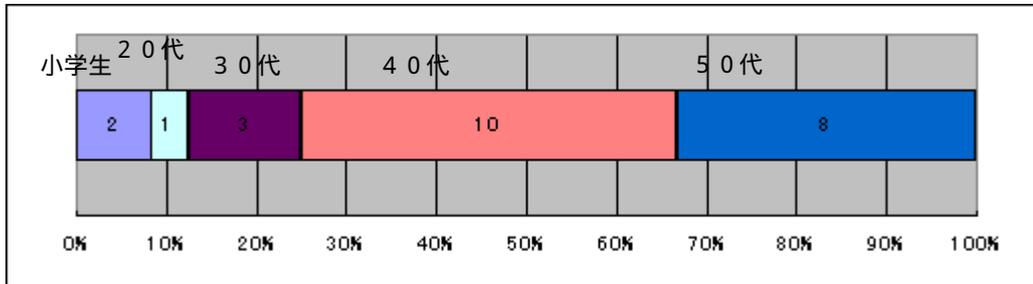
・キーワードと考えられる部分には下線を引きました。また、筆者がこれらから捉えた分析ポイントを追記しました。

・アンケート集計結果

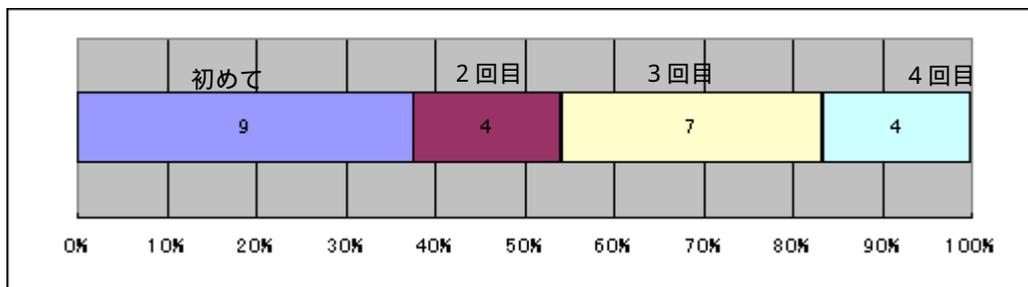
1. 性別



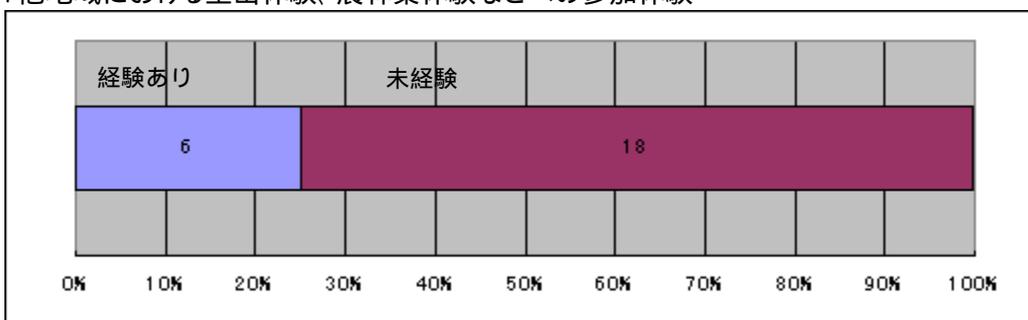
2. 年齢構成



3. 飯豊町 GT への参加回数

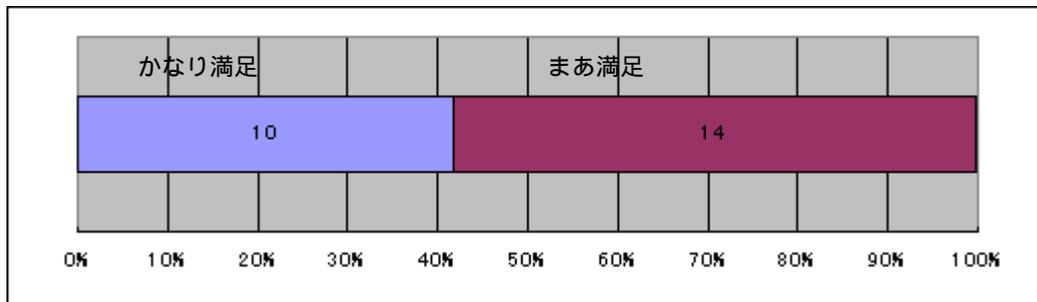


4. 他地域における里山体験、農林業体験などへの参加体験



(参考) 経験者が6名参加した。後に続く設問に対する経験者の意見等には「(他地域経験者)」と記載した。

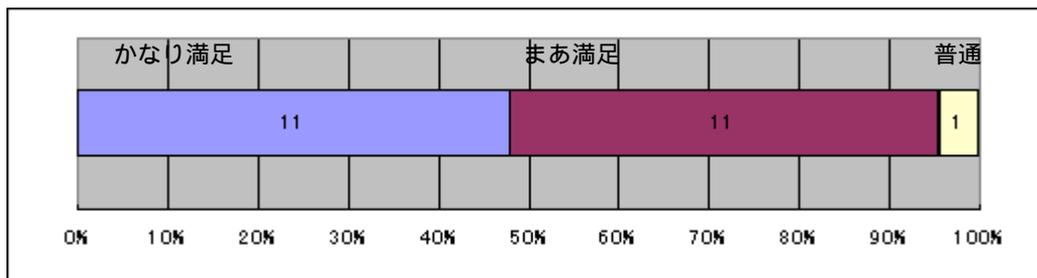
5. ツアー全体を通しての満足度



(参考) 「普通」、「やや不満」、「かなり不満」はゼロであった。後の設問に対する意見欄では否定的なものがあるが、全体としては満足した上での、より建設的な意見と捉えて良いと考えられる。

6. 個別の体験活動に関する参加者の満足度

6 - (1). 初日の「餅つき歓迎式」の満足度



【良い・悪い点】 私自身餅は大好きで、特につきたての餅をいただき大満足でした

みなさんが一丸となりついた餅はおいしかったです。

本格的であった

非常になつかしい感じがありよかった

全員参加型であった。地元の方々との雰囲気がやわらいだ

子供も参加できてとてもよかった

受入側もツアー参加者も心を合わせてお餅がつけた

3ヵ所同時に餅つきを行い全員が参加できた

(他地域経験者) つきたてがいただけしたこと

(他地域経験者) 地元の人達と一緒にできた。餅もおいしかった

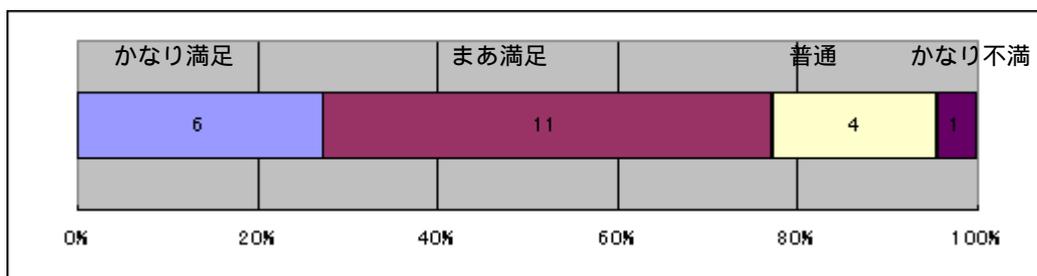
(小学生) おいしかったです

(小学生) もちがおいしかった

× 夕食に時間が近い方がよい

ポイント: 参加 / 受入側の垣根ない一体感を生んだ

6 - (2). 初日夜の「語り部の会」の満足度



【良い・悪い点】 方言にふれ故郷意識が感じられた

方言が入って昔話らしかった

テレビなどでみたことがありましたが実際に見聞きしてよかったです

終わってほんわかとあたたかい気持ちになりました

(他地域経験者)実際に小さいときに聞かされていた語りなので心に伝わってきた

× 結局、何の話かわからない

× 紙芝居形式にすると理解の助けになる

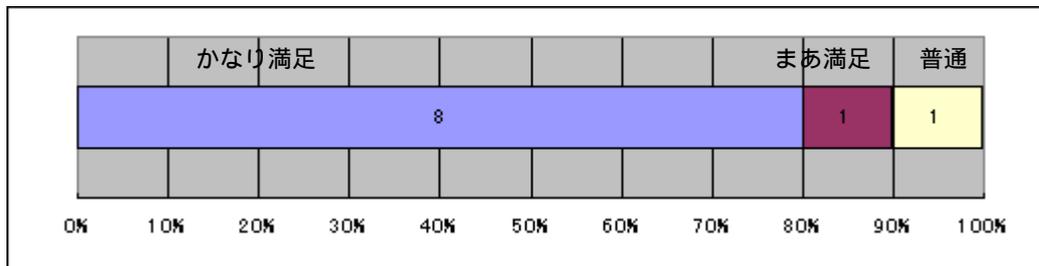
× (他地域経験者)話の解説を入れながらだとわかり易いかも(子供向けの落語会の様なつくりで)

× (他地域経験者)意味が分からないところがあった

× (小学生)よく分かりませんでした

ポイント:「わからないと面白くない」ことへの対応

6 - (3) . 2日目午前の「味噌・豆腐作りと郷土料理体験」の満足度



【良い・悪い点】 初体験に感動しました

お豆腐がとてもおいしかった(調味料がいらない程)

実際に自分でやってみて「大変な仕事だな」と実感させられました

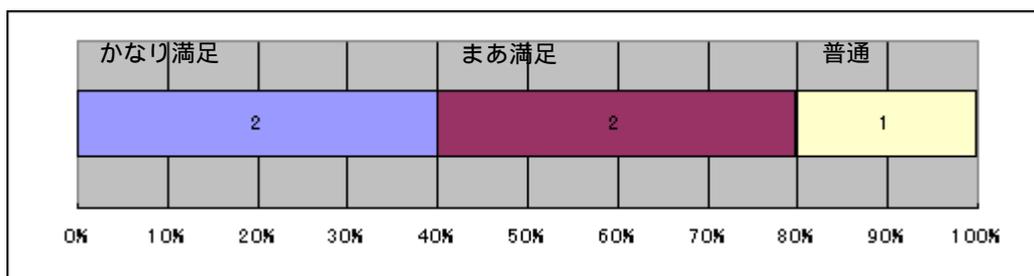
(小学生)楽しかったです

(他地域経験者)準備が大変だったと思います。心をこめて作りました。

× (他地域経験者)味噌作りの食塩が気になりました。私が自分で仕込みますが塩は天然塩とか自然塩です

ポイント:「健康、安心・安全」・食材へのこだわりが必要か?

6 - (4) . 2日目午前の「小正月行事さいぞう笑い作り体験」の満足度



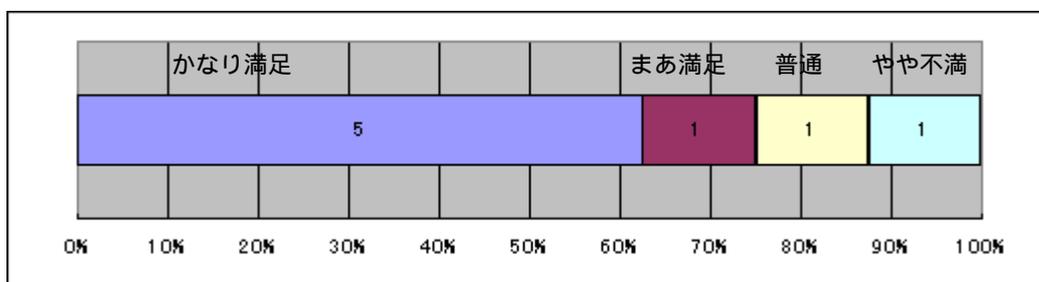
【良い・悪い点】 × 多少の肉体労働でちょっとキツかった

× 準備が大変であることは体験できたが、それしか印象に残らなかった

× (他地域経験者)行事の素晴らしさは裏方を体験すると尚更理解ができる。参加者を募る段階でもっとアピールすべき

ポイント:「お客様扱い」だったか?

6 - (5) . 2日目午前の「雪中野菜掘りと雪遊び体験」の満足度



【良い・悪い点】 とりたての新鮮な食事に感動しました

午後、牛の世話をできたことが良かった

牛に直接触れたのは良い経験になりました

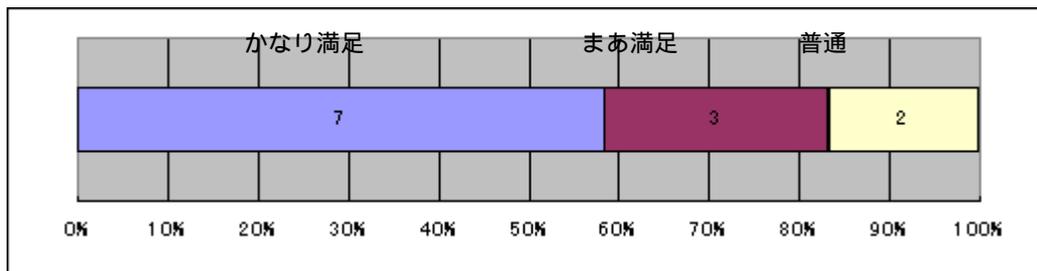
(他地域経験者) 沢庵の漬け方など具体的でよかった

×掘る場所が最初から準備されていた

×時間的にもう少しゆとりがあってもよかった

ポイント: 下記すげ笠作りとの比較...「ありのまま>つくった企画」か?

6 - (6) . 2日目午後の「すげ笠作り・すげ細工作り」の満足度



【良い・悪い点】 民家での体験で農家の暮らしぶりがなんとなくわかり有意義な時間を過ごせた

冬の民家の雰囲気ですばらしかった。時間がゆっくり流れていた

のんびり、ゆったり時間が過ごせた点

指導してくださった方々のお人柄や温かいおもてなしに大満足です

飯豊町の方々とふれあいが良かった

(他地域経験者) 作られた企画でなく真の農家生活を垣間見ることができ、温もりを感じすばらしかった

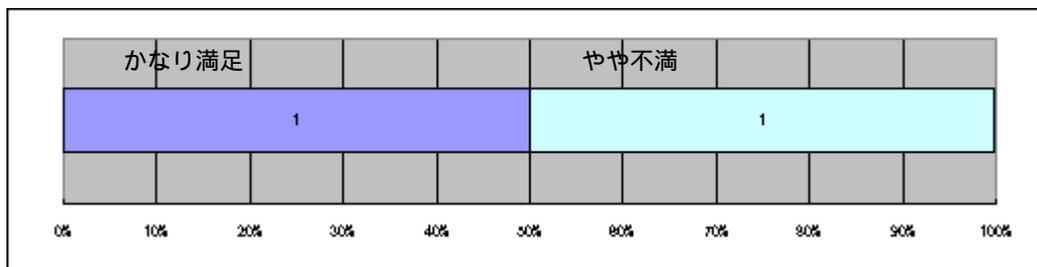
(他地域経験者) 大変楽しかったです。1ヶ470円ではかわいそう! お茶を頂きごちそうになり家の中を見せていただきすごく楽しかったです

×もう少し時間があればよい

×大変楽しかったがもう少し時間がほしい

ポイント: 「ありのまま」の大満足と将来の新産業が繋がるか?

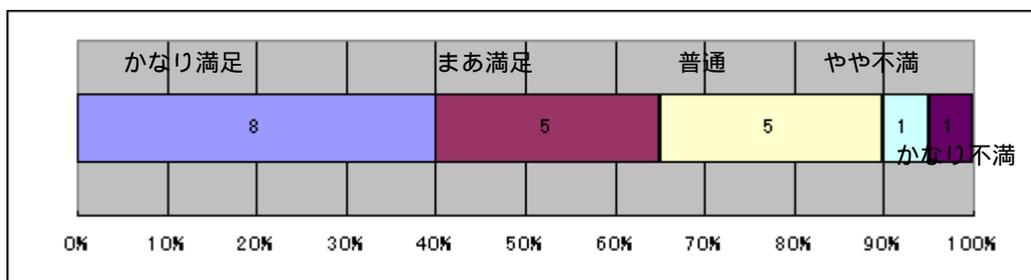
6 - (7) . 2日目午後の「かまくらと甘酒作り体験」の満足度



【良い・悪い点】 (他地域経験者) 地元の人の優しさ、親切さが伝わってきた

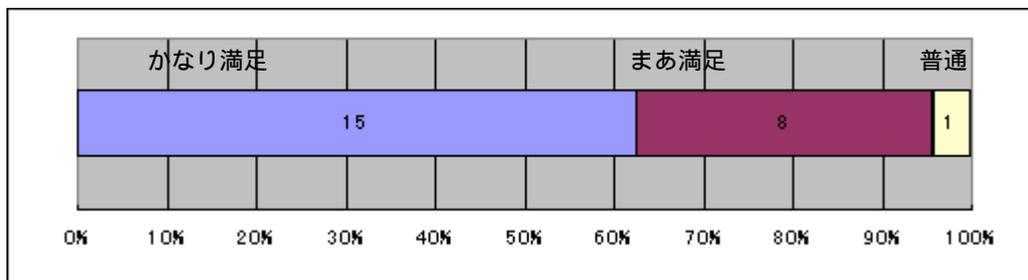
×雪不足でかまくらが作れなかった

6 - (8) . 2日目夕食時の「花笠踊り体験」の満足度



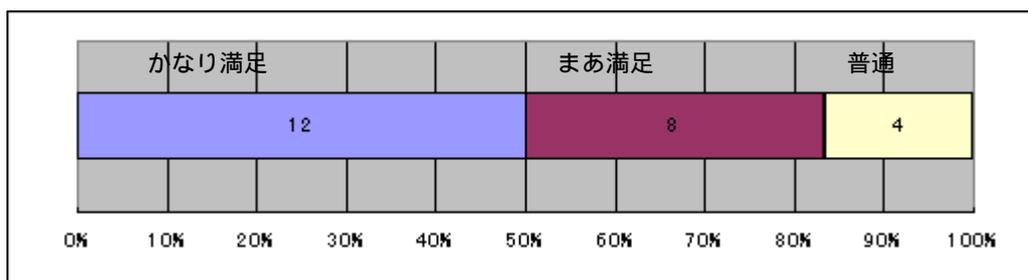
- 【良い・悪い点】 皆和きあいあいとなったタイミングだったので盛り上がった
 皆さんと踊り、とても楽しかったです
地元の人との一体感がよかった
 一体感ができてよかった
 ×よくわからないうちに終わってしまいました
 ×もっと時間をとって欲しかった
 ×踊り方の説明が全くないのが大きな不満。笠を持ってまわるだけなら意味無し
 ×踊り方の説明があつてから実際に踊れるとよかった
 ×(他地域経験者)まずは教えてもらってから踊りたかった
 ×(他地域経験者)楽しかったですがもう少し踊ってもよかったのでは
 ×(他地域経験者)事前に踊り方を教えて欲しい
 ×(小学生)よくわかりませんでした
 ポイント:「わからないと面白くない」ことへの反応

6 - (9) . 2日目夕食後の「雪中行事(さいぞう笑い)体験」の満足度



- 【良い・悪い点】 ムードがあつた
 星がきれいだった。雪の中のロウソクが幻想的だった
 雰囲気があつてよかったです。“日通(ハートマーク)いいで”はいいですね
日本の文化を感じることができた
伝統の行事を体験できて良かった
 地域色があつてよかった
 幻想的できれいでした
 隠れていた星が見えてきれいでした。さいぞう笑いもとてもよかった
 雨でできないと思っていたが雨もやみ実行できたし、これを作った人に感謝したい
 (他地域経験者)準備がすごい。雪国の体験ができた
 (他地域経験者)思ってもみなかった行事の流れで素晴らしかったです
 (小学生)楽しかったです
 ポイント:「伝統・文化」、「地域色」、「雪国」、「意外性・驚き」

6 - (10) . 3日目の「スノーモービルと雪合戦体験」の満足度

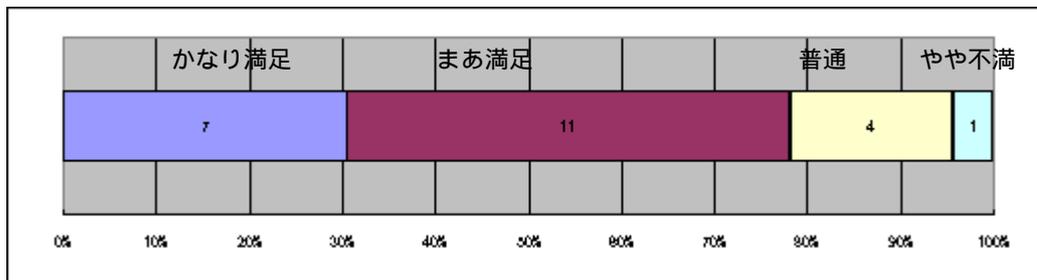


- 【良い・悪い点】 雪合戦には参加しませんでした。スノーモービルに乗せてもらって満足です

- 本格的ルールでの雪合戦は案外面白かった
 スノーモービルは迫力があつた。雪合戦は誰でもできる楽しさがあつた
 スノーモービルは気分がいいですね
 子供に戻つた気分ですとても楽しかつたです
 今までやつた雪合戦よりスリルがあつて楽しかつた
 (他地域経験者)雪合戦に出なかつたことで後悔しています
 (他地域経験者)雪合戦がこんなに面白いとはおもわなかつた
 (小学生)一番楽しかつたです
- ×もう少しゆっくり進行してもよかつたのでは
 - ×中にはスノーモービルは自分で運転できるのかと思つてたとおつちやつていた方がいました
 - ×できればスノーモービルを自分で運転したかつた
 - ×スノーモービルを自分で運転できればなおよかつた
 - ×(他地域経験者)スノーモービルは自分で運転したい運転の真似事をさせるくらい
 のノウハウがあつてもいいのでは
 ポイント:雪合戦...「意外性」、「皆で楽しむ」、「未体験」
 スノーモービル...「自身で運転させる」工夫は?

7. 食事に関する参加者の満足度

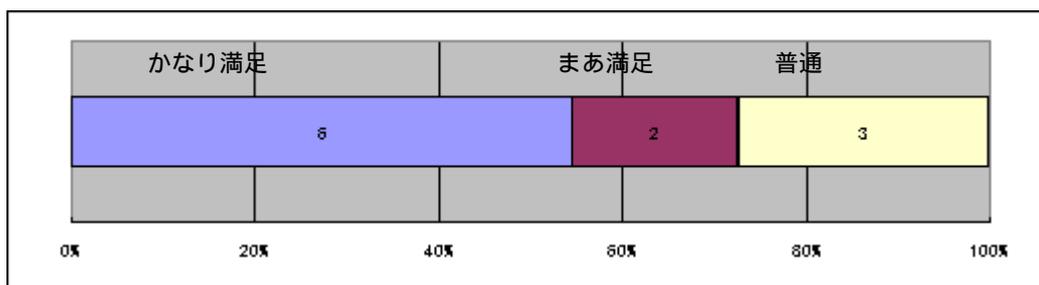
7 - (1). 初日の夕食「白川荘での郷土料理」の満足度



【良い・悪い点】 やまめの塩焼きが美味

- 野菜たっぷりで健康的
 東京では食べられない地元の料理がとてもおいしかつたです
 地元の素材を使つているのがよかつた。ステーキがおいしかつた
 山菜、川魚、地の物がおいしかつた
 牛肉がおいしかつた
 お肉がおいしかつた
 (小学生)おいしかつたです
- ×品数も少ないし、あの場所で1泊1万円近くの料理とは思えない
 - ×郷土料理には満足、が私自身川魚はあまり好きではないので“まあ満足”にした
 - ×(他地域経験者)量が多かつたです
 ポイント:毎回満足度がアップする。
 (白川荘の力に加え、参加者の価値観に変化が?)

7 - (2)A. 2日目の昼食「中津川地区での手づくり昼食」(午前が味噌・豆腐作り班の方)の満足度



(留意点)参加者自身が郷土料理体験をしながら用意した昼食への評価

【良い・悪い点】やはり自分達で作った豆腐はおいしかったです

どれもおいしかったですね。特に野菜類の素材そのもののおいしさが際立っていた

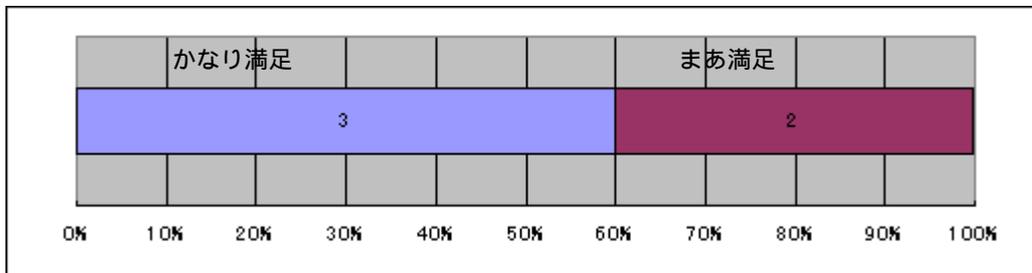
(他地域経験者)作ったものをいただけただけなので大満足です

(小学生)おいしかったです

×美味だったが量が多かった

ポイント:「自分達で作ったモノ」

7 - (2)B. 2日目の昼食「中津川で手作り昼食」(午前中がさいぞう笑い作り班の方)の満足度



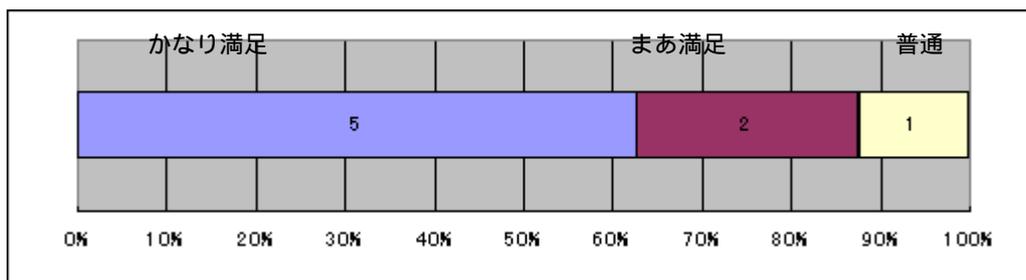
【良い・悪い点】なにもかも美味しかった。つさぎの肉も初体験だった

手作りの料理に満足です

ウサギの肉などめずらしい体験もできた

ポイント:「手作り」、「初体験」

7 - (2)C. 2日目の昼食「中西地区で手作り昼食」(午前が中西での体験班の方)満足度



【良い・悪い点】野菜、特に漬物づくし

ブタ汁も、各家庭から持ちよった食事もよかった

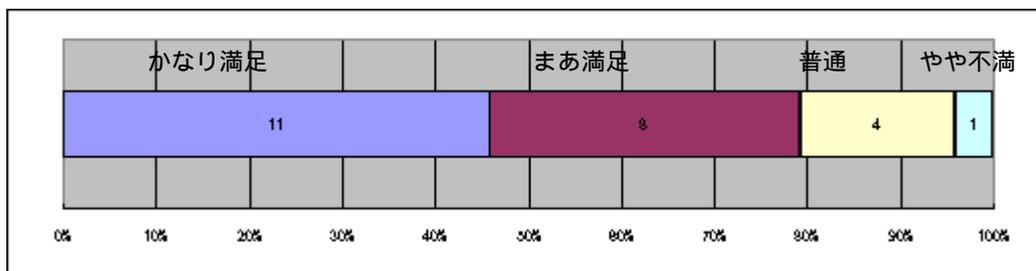
(他地域経験者)野菜中心の健康食長寿の訳がわかった

×それぞれはおいしかったがどれも味が濃いので、最初からお茶や水があればよかった

ポイント:「手作り」、「味の濃さ」...地域の味へのこだわり?

(一般的な健康志向とのギャップは?)

7 - (3). 2日目の夕食「交流夕食会」の満足度



【良い・悪い点】やまめの寿司がめずらしかった

ヤーコンのフライ、どぶろく鍋など他にない

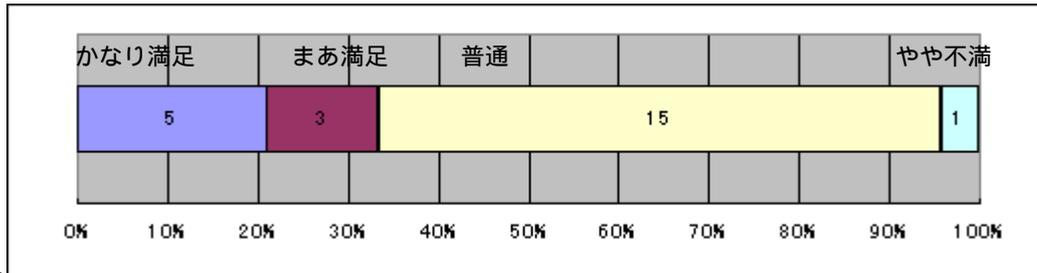
初めてでしたが地元の方ともお話ができてよかったです

どれもおいしかった

同席した町の方、農工大学生と有意義な会話できた

- 地元の人との話しながらの食事は楽しい
 学生の方々の将来の展望などを聞くことができてよかった
 いろいろな人とゆっくり語り合えた
 (他地域経験者)すべて美味でした
 (他地域経験者)お会いした方にも会え、いつもは飲まないビールも口にした
 (小学生)おいしかったです
 ×どぶろく全体があまり好きでなかった(料理も含めて含めて麴の味は苦手の意
 か??不明)
 ポイント:「交流会」を今後の展開でどう活かすか

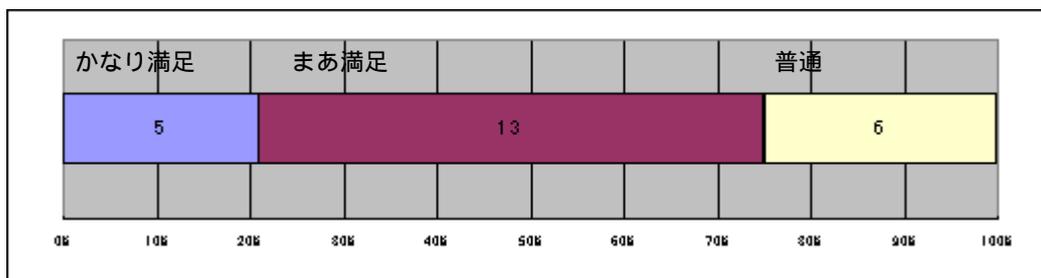
7 - (4) .3 日目の昼食「めざまの里観光物産館での自由食」の満足度



- 【良い・悪い点】 高かったけどステーキはやわらかくおいしかった
食事、買い物を楽しめました
 時間が充分にありよかった
 (小学生)とてもおいしかったです
 ×特にめずらしいメニューなし
 ×食べたレストランは大変時間がかかり待たされた
 ×好きなものを食べられたが高かった
 ×あまり食べませんでした
 ×(他地域経験者)レストランの食事が出るのが遅すぎる。出てくる順番も店の都合で
 決められているように見受けられたが
 ×(他地域経験者)おにぎりと沢庵の弁当を持たせてもらう方がいい
 ポイント:レストラン料金...以前から「高い」という声が多い
 レストラン、ファストフードコーナー...共に以前から「時間がかかる」という声
 が多い

8 . 施設に関する満足度

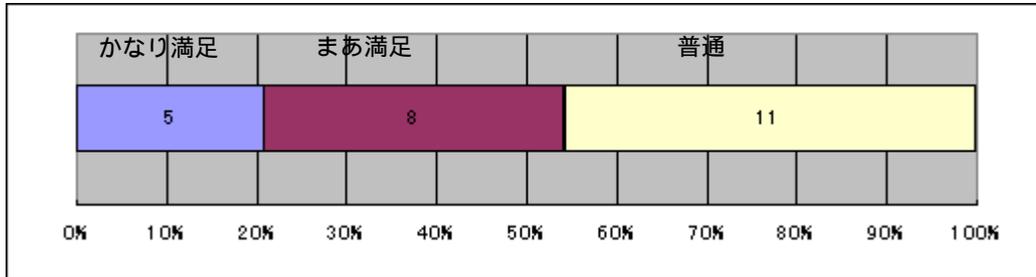
8 - (1) . 宿泊先「白川荘」の満足度



- 【良い・悪い点】 トイレがきれいで気持ちよかったです
 前回着たときにはトイレにウォシュレットはついていなかったが、今回ついていた
スタッフも家庭的で好感が持てます
従業員の方々がとても親切
 温泉がとても良かったです
 ×風呂が小さい
 ×水圧がもっと欲しいです

- × 温泉もあやしいし、室内もきたない
- × (他地域経験者) 露天風呂などお風呂の充実
- × (他地域経験者) 風呂場のドライヤーがもう一つ欲しいです。次の人のことを考えて急ぎました
ポイント:「従業員の好感度」

8 - (2) . 「めざみの里 観光物産館」の満足度



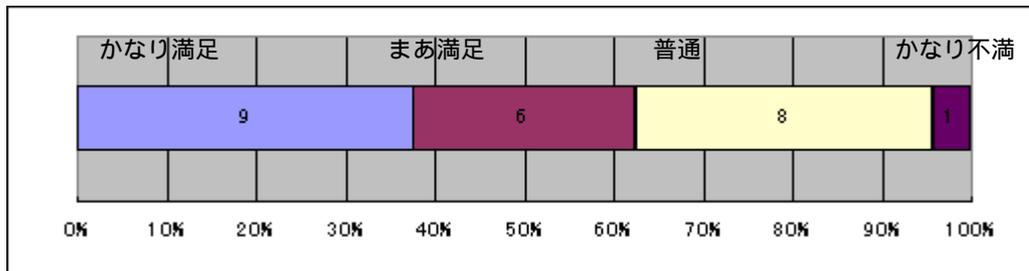
【良い・悪い点】 充実していると思います

- 地元の野菜、つけものが安く購入できてうれしかった
- 地元産の野菜、果物が多い
- 品数も以前に比べて増えたように感じます
- きれいで品揃えもまずまず
- (他地域経験者) なんでも揃っている
- (小学生) ちょうたのしかった

- × 欲しいものの品切れが多かった
- × (他地域経験者) 前回おいてあった品がなかったです
ポイント:「欠品」... 毎日買い物する客とツアー客では欠品の影響が異なる
(ここで買えないなら先にあるところを探すように)

9 . ツアー料金に関する参加者の満足度

9 - (1) . パッケージ料金 (会社助成を受け大人 19,800 円、子供 18,000 円に設定) の満足度



【良い・悪い点】 安すぎるくらい

(小学生) ちょうたのしかった

- × 仙台からの参加でバスでなくマイカー利用となっているので安くして欲しかった

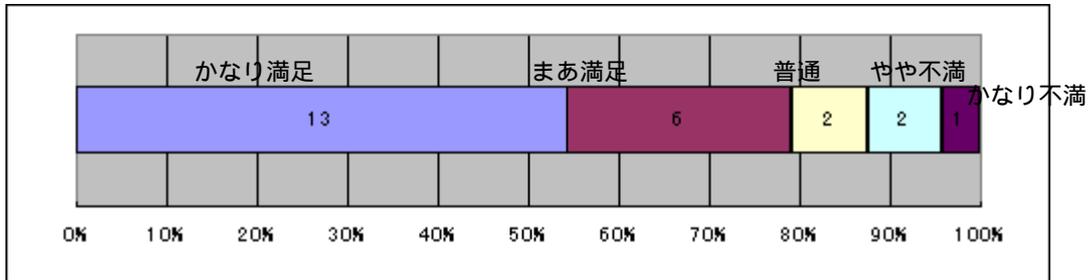
【今回のツアー内容で最大どの程度の料金設定が可能と考えるか】

大人	子供
10,000 円	5,000 円
15,000 円	12,000 円
19,800 円	14,800 円
20,000 円	15,000 円 (2 名)
20,000 円	17,000 円
21,000 円	12,000 円
22,000 円	18,000 円
25,000 円	15,000 円
25,000 円	18,000 円 (2 名)

25,000 円	20,000 円 (2 名)
29,800 円	28,000 円
30,000 円	18,000 円
45,000 円	40,000 円
(平均) 23,388 円	17,781 円

10. ツアー日程に関する参加者の満足度

10 - (1). 今回の旅行日程 (連休 2 日 + 平日 1 日の 2 泊 3 日) の参加者の満足度

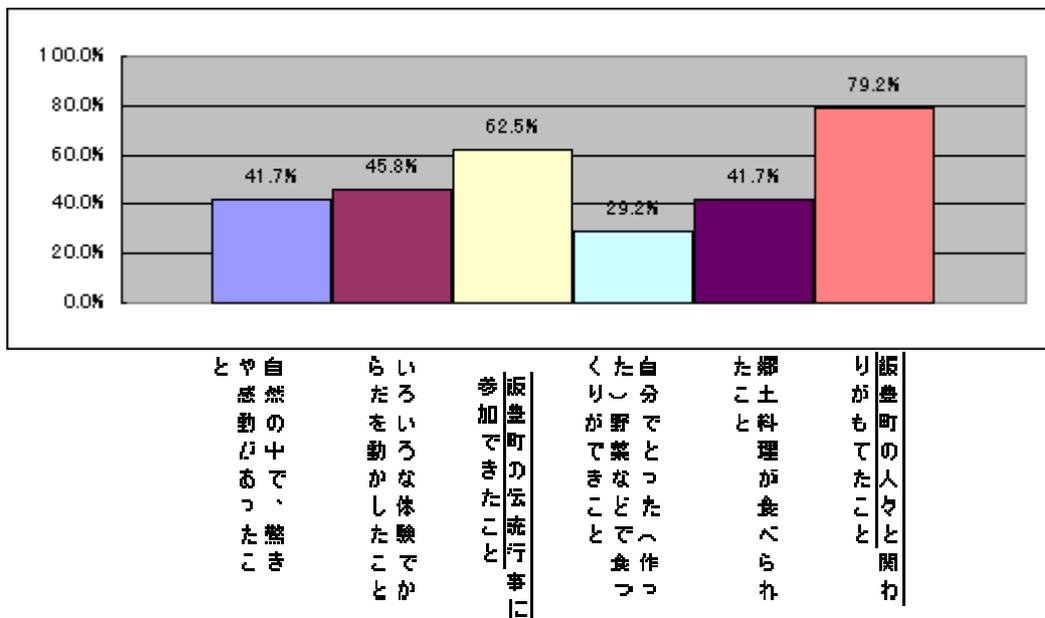


【良い・悪い点】 このパターンが一番いいですね

- × 娘(中学生)も参加させたかったが、平日が入るときびしい
- × 土～日(祝日)の日程であればもっと多くの参加があると思う。平日がはいると学校
の関係でいけない人が出る
- × 子供の長期休暇中に開催すべき。3連休の2日をつぶすのはかなり疑問(注意:後
半部分は「会社行事として捉えた場合」の意と思われる)
ポイント:「学校は休ませない」と考える 学校は休むべきでないと思える人は多
いということか?
「会社行事なら休日は避けるべき」との主張
(自身のライフスタイルを確立できないサラリーマン社会?)

11. ツアー全体に関して

11 - (1). 参加者がツアーに参加してよかったこと

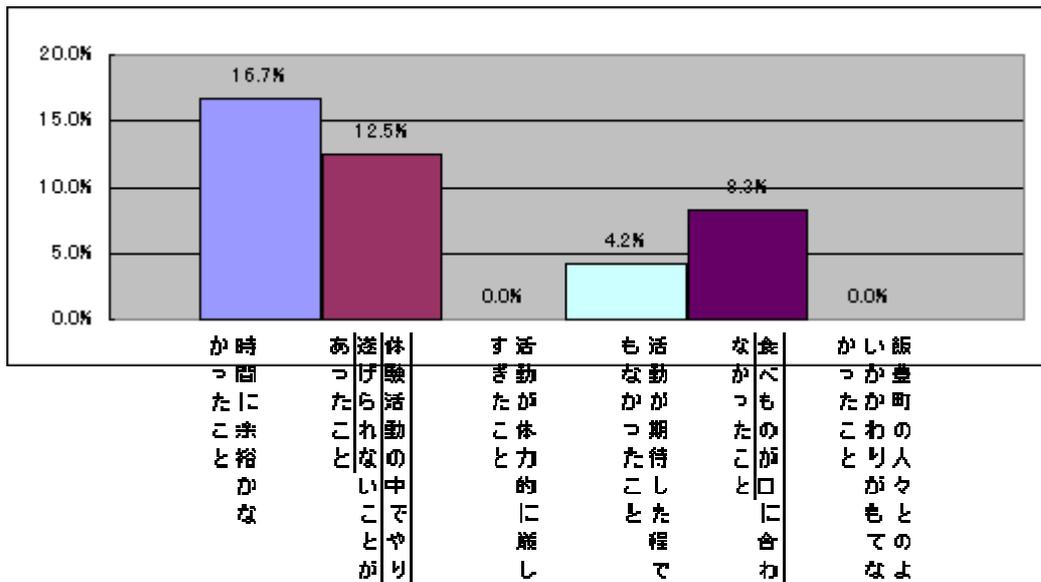


【その他に良かったこと】

- ・町の方々とふれあいは素晴らしかったです
- ・ツアー参加の方々とかわりがもてたこと
- ・飯豊町の人々といろいろなお話できた。これからも友達でいたい
- ・(小学生) 雪の中であそべたのがちょうたのしかったです

- ・(小学生)新しい友達ができたと
ポイント:「交流」、「伝統行事」

11 - (2) . 参加者がツアーに参加してよくなかったこと



【その他によくなかったこと】

- ・雪が少なかった
- ・東京 飯豊間の移動
- ・食べ物あまりすぎたこと
- ・家族を連れて行けなかったこと
- ・移動時間が長い
- ・あえて挙げれば日程が「水・木・金・休み・休み・休み」だったと更に良いと思いました
- ・(小学生) (よくなかったことがあるなんて) なわけない
ポイント: 毎回の食事が同系になりやすい。口に合わないとも何も食べるものがなくなる
「活動の完結性」

11 - (3) . 参加者の考えるツアーのよくなかったことの改善方法

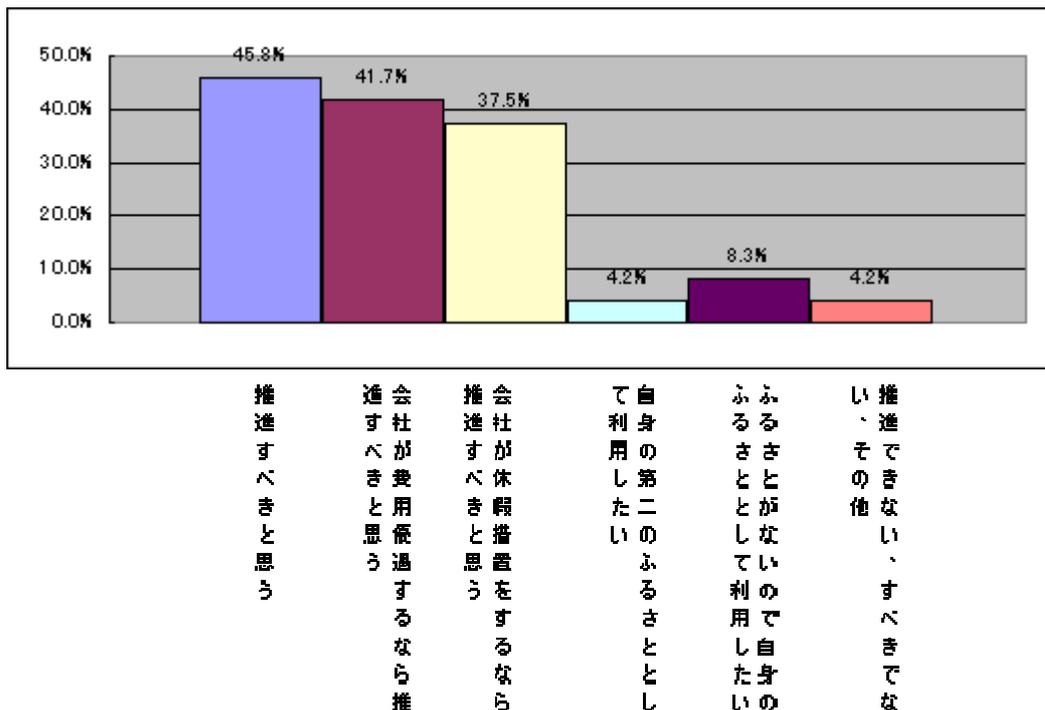
- ・場所を変える。新幹線を利用する
- ・電車での参加も検討の方が良い(移動に時間がかかるため)
- ・短時間なので活動内容を絞って全員でやり遂げられるようにしては
- ・スタッフ等より多くの人に参加してもらって大勢で食事する
- ・地元の子供たちとの交流も入れたら良いと思います
- ・時間的な制限があるので厳しい
- ・子供が参加できる日程にした方が良い(平日に学校を休ませるのは疑問だ)
- ・(他地域経験者) もう1泊追加する
ポイント: 「全員」、「完遂」、「地元の子供」、「時間不足」

11 - (4) . 参加者がツアーで発見したもの

- ・雪国での生活の苦勞。冬の静けさ
- ・町の人何かをしたいという気持ちが伝わってきた。町の人が遠慮しながらやっている感じがした
- ・農村の体験をぜひ子供に体験させるべき
- ・農業の素晴らしさと田舎暮らしの快適さを実感できた
- ・農業の重要性を改めて感じました。また、子供たちも食物がたいせつであるかということが学べたと思います
- ・特に小学生から体験してもらいたいです。よい思い出になりますから。年 4 回参加できたくさんの体験をさせていいいただきました。1 回だけだったらとてもこの感動はなかったと思います。心に残

ポイント:これを口にする人は多いが、本質を見出せていない、振り返ることをしたくない、などではないか？ 市場調査要では？

11 - (6) . 社会実験テーマである「企業ふるさと」に対する参加者の考え



【推進できな、すべきでない、その他の意見】

- ・いまだ分からない
- ・年休をとっても費用優遇があれば自発的な参加を促せると思う。国が健康保険等の枠で補助すべき(予防医学につながればよいが、ストレス解消、健康促進など)

9 - (7) . その他、今回のツアーで参加者の気づいた点、全般の改善点など

体験の時間が程良く、余裕もあったので、何もしない時間(ぼーっとできる時間)もあってよかった

主人が熱を出しているとき、飯豊町のたくさんの方々が気遣ってくださいました。とてもうれしく是非よろしくお伝えください。

このツアー関係者のご苦労は大変だったと思います。素晴らしいツアーでした。心からお礼申し上げます

回を重ねるごとにツアーの充実度がUPしたと思う

(他地域経験者) 今後もぜひ続けて欲しい。 民宿体験もしたい

(小学生 - 代筆) 朝、学校に行くとき「バーバ、アンケートに“ありがとうございます。また、行きます”と書いておいて」と言われました

(小学生) 「雪は積もるといふこと」を実感できた

- ×もし、今後一般向けに企画するならもっとわがままな参加者もありえることを想定した対応が必要
- ×抽選会等の催しがあれば楽しい(商品は地元の特産品)
- ×体験活動は沢山なくても、今回は冬でしたので雪景色をのんびり見るのもいのではと感じました。子供には体験活動が沢山あった方が良いでしょう
- ×実験ツアーが終了し、今後、飯豊町で行う上での改善点、マイナスポイントを補うような仕掛けや取り組みが、本当に求められると思う
- ×かなり長時間バスに乗るのだからもう少し設備(トイレ付き、車内イベントなど)の良いバスを用意した方が良いでしょう
- ×2回のツアーで感じたことは、宿泊を分散し民家に泊めていただいて農家の方と直接お話をし、農家の苦労話などを体験するのも一案と思いました

以上